

平成27年度 第1回 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会

[目次]

1. これまでの取組み経緯	1
2. 実施した渋滞対策	8
3. 今年度の主な取組み	17
4. 交通状況のモニタリング	25

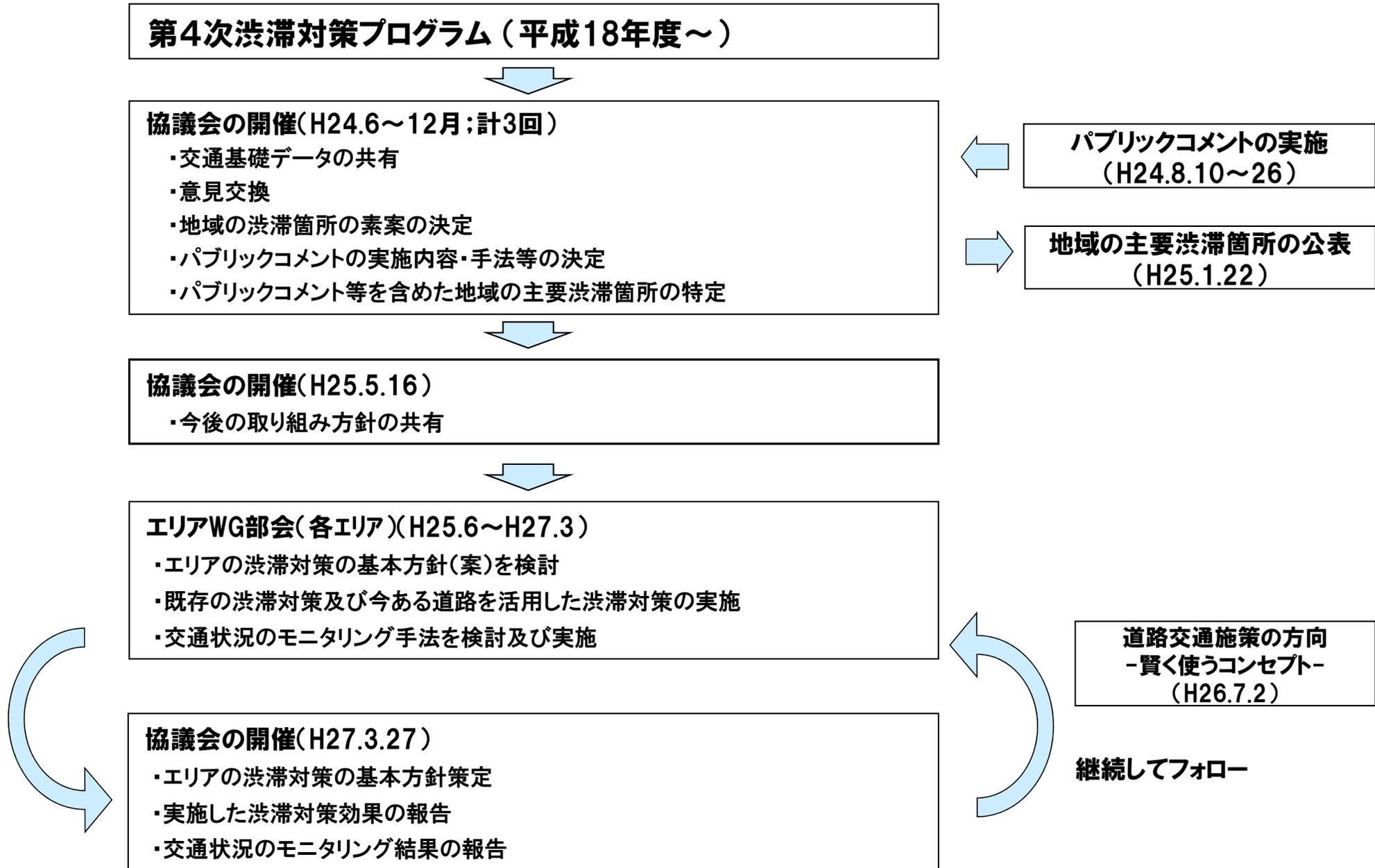
平成27年9月30日(水)

愛知県道路交通渋滞対策推進協議会 事務局

1. これまでの取組み経緯

1. これまでの取組経緯

1-1 検討の流れ



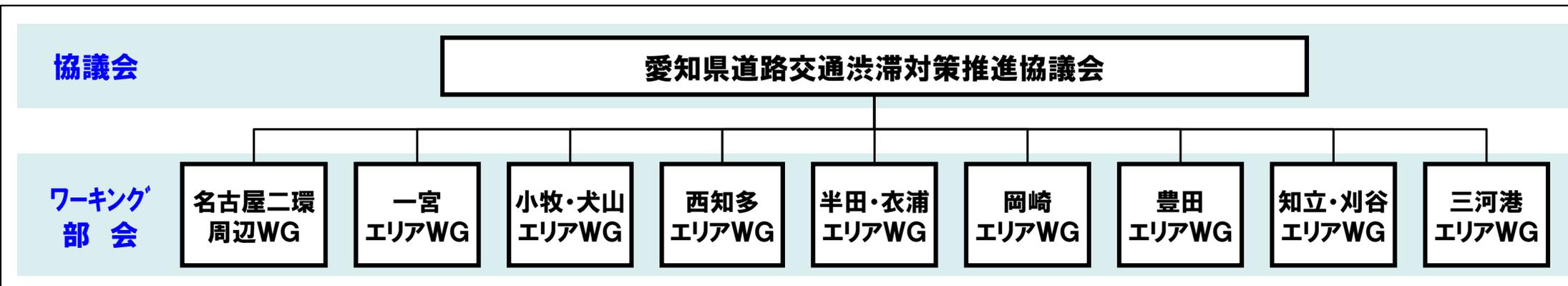
※H27.3.27協議会で岡崎エリア、小牧・犬山エリアの渋滞対策の基本方針を策定

1. これまでの取組経緯

1-2 検討体制等

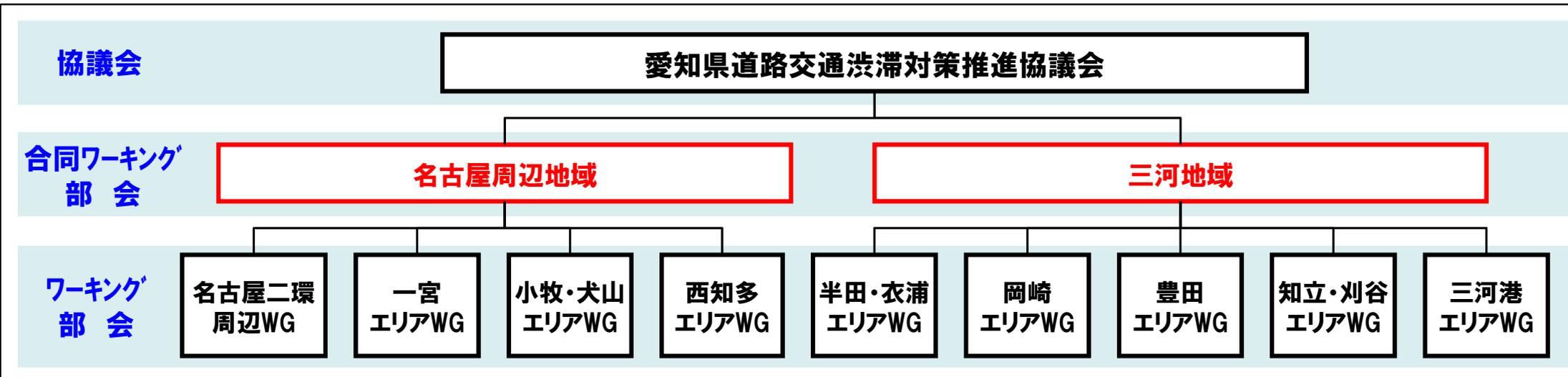
- ワーキング部会において、エリアの交通課題に対する検討を進め、合同ワーキング部会、渋滞対策推進協議会に検討状況及び結果を報告

H26年度まで



- 近接するエリアについて、地域特性・交通特性が類似しており、エリア間の結びつきが強い。
⇒9エリアで検討を進めてきたWGについて、「名古屋周辺地域」、「三河地域」の2地域において、それぞれワーキング部会を合同開催。
- 必要に応じて個別エリアで打合せを開催。

H27年度から

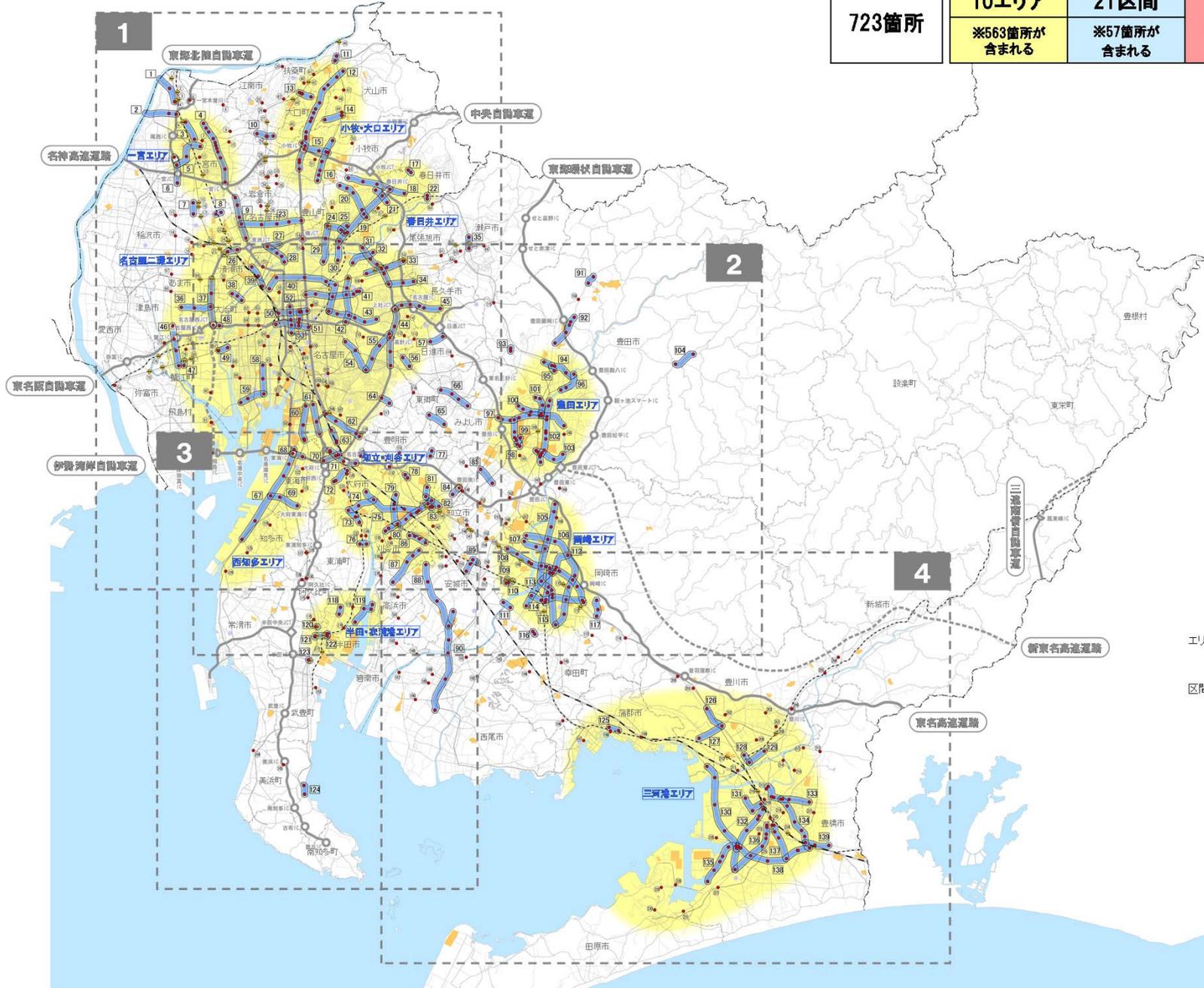


1. これまでの取組経緯

1-3 平成24年度公表の主要渋滞箇所

愛知県 地域の主要渋滞箇所図（一般道）

主要渋滞箇所数	集約されるエリア数	集約される区間数	単独箇所数
723箇所	10エリア ※563箇所が含まれる	21区間 ※57箇所が含まれる	103箇所



エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

- 凡例**
- <主要渋滞箇所>
 - 箇所
 - 箇所(踏切)
 - 区間
 - エリア
 - <道路種別>
 - 高速道路
 - 一般県道以上
 - 市町村道
 - 主な工場等
 - 主な大規模商業施設

1. これまでの取組経緯

1-4 愛知県全体における渋滞対策の基本方針について(平成25年5月16日協議会資料)

検討経緯

- 愛知県内における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「愛知県道路交通渋滞対策推進協議会」※（以下「協議会」）において、道路利用者のみなさまが実感している渋滞箇所等を「地域の主要渋滞箇所」として選定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」に対する渋滞対策の基本方針を「協議会」にて検討し、決定しました。

※「愛知県道路交通渋滞対策推進協議会」の構成員

国土交通省中部地方整備局、中部運輸局、愛知県警察、愛知県、名古屋市、名古屋高速道路公社、愛知県道路公社、中日本高速道路株式会社、愛知県トラック協会、愛知県バス協会、愛知県タクシー協会、名古屋タクシー協会

H24.6 第1回協議会

H24.7 第2回協議会

H24.12 第3回協議会

地域の主要渋滞箇所選定

主要渋滞箇所に対する渋滞対策の基本方針

1. 愛知県の概況

モノづくりで日本を牽引

- 三大都市圏の中心地。人口約740万人(全国4位)
- 製造品出荷額等が35年連続(昭52-平23)全国1位

産業・暮らしを支える道路

- 国際物流拠点(名古屋港・三河港・衣浦港・中部空港)の周辺等において物流交通が活発

交通渋滞・交通事故が多発

- 市民生活が自動車交通に依存(分担率7割)
- 全国の自動車の走行台キロの5.5%が集中(全国1位)※
- 慢性的渋滞により幹線道路のサービス水準が低下、一般国道の平均旅行速度は29.6km/h(全国ワースト3位)※
- 交通事故死者数が10年連続全国ワースト1位

※平成22年度 道路交通センサスより(県道以上対象)

2. 方向性

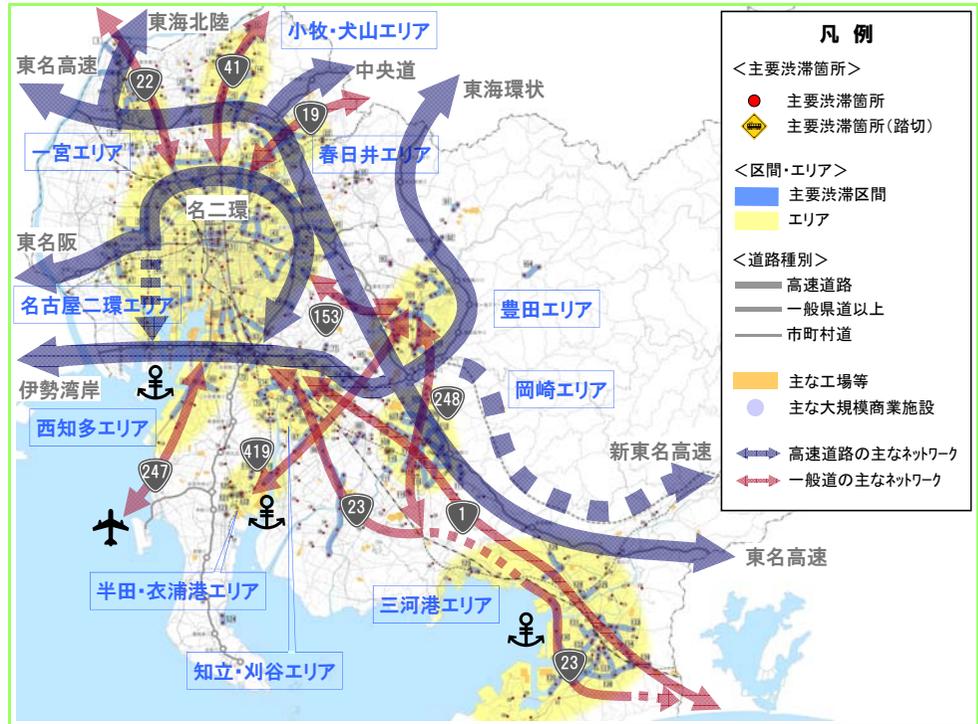
総合対策等

- 自動車利用の適正化を図るため、時差出勤やパーク＆ライドの促進等のソフト施策を進める。
- 公共交通の利用促進のため、魅力的で利用しやすい環境整備、乗継利便性向上、交通事業者間の共通利用サービス等を進める。
- 自転車の利用促進のため、道路空間の再配分等を進める。

道路整備等

- バイパス道路や環状道路の整備等の幹線道路ネットワークの充実により、交通の円滑化を図る。
- 現道拡幅、交差点改良、踏切対策(踏切除却・連続立体交差事業)等のボトルネック対策を計画的に進める。
- 弾力的な料金施策等により、高速道路ICの渋滞緩和を図る。

3. 愛知県全体の交通ネットワークイメージ



渋滞対策の基本方針

- **バイパスや環状道路の整備により交通容量の拡大を図るとともに、ソフト対策による渋滞軽減への取り組みを図ります。関係者で構成されるエリアWG(ワーキンググループ)を設置し、更なる対策検討及び対策効果を検証してまいります。**

道路管理者

国土交通省、愛知県、名高速、NEXCO

都道府県警察

愛知県警察

運輸局

中部運輸局

基礎自治体

名古屋市など

運送事業者

トラック協会、バス協会など

有識者

学識経験者など

1. これまでの取組経緯

1-5 岡崎エリアの渋滞対策の基本方針(平成27年3月27日協議会資料)

渋滞対策の基本方針

- ◇ 岡崎市街地に集中する通勤交通や生活交通に対して、公共交通への転換を促すために、バスネットワークの再編による利便性の向上を図ると共に、中心部に流入する通過交通を抑制するために(主)名古屋岡崎線の整備や(主)岡崎環状線の機能向上(右折レーンの延伸等による交通容量の拡大)を図るなど、ソフト・ハードの両面から対策を検討・実施します。

(1) エリアの概況

岡崎エリアの地域特性

- ・岡崎市は、人口約38万人の都市で、西三河地域において、豊田市(42万人)に次ぐ2番目の人口規模の都市。
- ・名鉄東岡崎駅を中心とした市街地部に都市機能が集積しており、広く市域内外から通勤・生活交通が集中。
- ・国道1号・248号が、市街地部の都市骨格軸を形成しており、駅周辺や国道248号沿線では大規模商業施設や商業店舗も多数立地。
- ・製造業が活発で、市街地および周辺に自動車産業を中心とした製造業事業所が広く集積。豊田市、安城市・刈谷市・知立市などの拠点都市と産業面での結びつきが強い。

岡崎エリアの交通特性

- ・岡崎市は、東西軸の国道1号(安城・知立・刈谷地域-東三河地域)と南北軸の国道248号(豊田市、国道23号・三河港方面)が結節する交通の要衝となっている。
- ・国道248号の東側に環状機能を有する岡崎環状線が整備されており、南北交通の中心市街地への流入抑制を促す役割を担っている。
- ・名豊道路の整備の進捗により、国道1号を東西に通過する大型交通は減少傾向にある。

【現状の課題】

- ・朝夕は通勤交通等、日中は生活交通等の集中により、市街地部の国道1号・国道248号では恒常的・慢性的な速度低下が発生。
- ・(主)岡崎環状線は、環状道路として役割を果たしているが、交通容量の超過により速度低下が発生。
- ・国道248号以外の南北道路が脆弱のため、都市間を結ぶ産業交通が国道248号利用のために市街地部へ流入し、速度低下に拍車。
- ・地理・地形的な制約から、朝夕は渡河部・鉄道交差点等においても速度低下が発生。

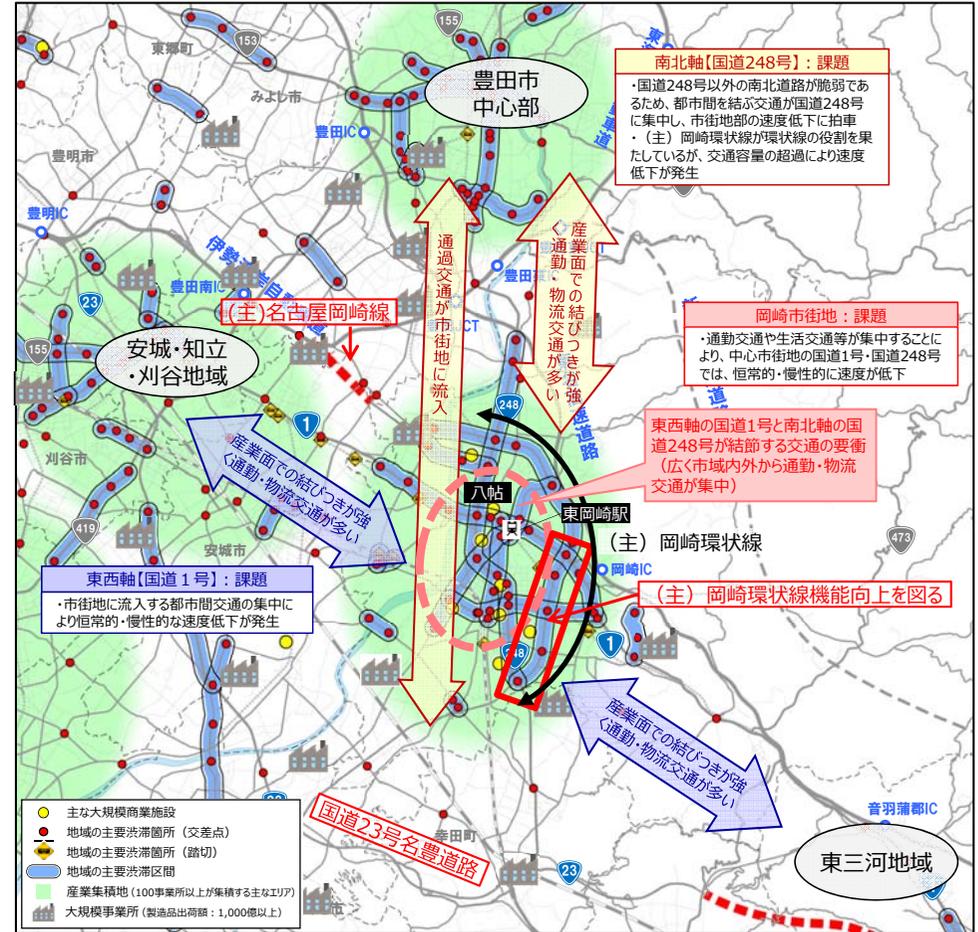
【将来像】※西三河都市計画区域マスタープラン、岡崎市まちなか総合交通戦略

- ・都市拠点間や工業地と広域交通体系を結ぶ都市幹線道路など幹線道路網の整備を推進
- ・市街地への通過交通の流入を防ぐ環状道路の機能強化
- ・交通の視点から施策をとりまとめたまちづくり関連計画である「岡崎市総合交通政策」と連携を図り、(1)人にやさしく安全安心な交通の実現(2)観光・交流を促進し、まちの魅力を高める交通の実現(3)円滑で快適な交通の実現(4)環境にやさしい交通の推進を目指す。

(3) 対策メニュー

対策実施箇所	対策メニュー
総合対策等	・岡崎市中心市街地において、公共交通の利便性向上策(バス本数の増加、バス路線の新設・再編、公共交通優先システム(PTPS))等のソフト施策を進め、公共交通への転換を促し、交通渋滞の緩和を図る。
道路整備等	・南北軸(国道248号)において、(主)岡崎環状線の環状機能の向上を目指す、右折レーンの延伸や信号サイクルの見直しなど対策を実施する。また、併せて国道248号の八帖交差点(南進方向)の右折2車線化の検討を進める。 ・東西軸(国道1号)において、中心市街地に流入する都市間の産業交通を分散するために、(主)名古屋岡崎線の整備を進めるとともに、広域的な東西通過交通の更なる転換に向けて、引き続き名豊道路の整備を進める。

(2) エリアの課題



(エリアWG体制)

道路管理者	都道府県警察	運輸局	基礎自治体	道路利用者
国、愛知県 NEXCO中日本	愛知県警察	中部運輸局	岡崎市、豊田市、 安城市、幸田町	岡崎商工会など

1. これまでの取組経緯

1-6 小牧・犬山エリアの渋滞対策の基本方針(平成27年3月27日協議会資料)

渋滞対策の基本方針

- 南北軸に集中する通勤交通等に対して、交通の円滑化を図るために、国道41号名濃バイパスの6車線化整備を進めるとともに、東西方向の移動の円滑化ならびに南北軸へのアクセス向上を図るために、国道155号村中拡幅事業などの整備を進めます。また、行政と企業が連携したコミュニティバスの取組の拡充(広報、ダイヤ改正の検討など)を図り、公共交通の更なる利用促進を促すなど、ソフト・ハードの両面から対策を検討・実施します。

(1) 小牧・犬山エリアの概況

小牧・犬山エリアの地域特性

- 小牧・犬山エリアは、小牧市、犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の4市2町で構成されており、人口約42万人の人口規模。
- 製造業が活発な地域で、エリアを南北に縦貫する国道41号名濃バイパス沿線およびその周辺に製造業や運輸業の事業所が多く集積。
- エリアの北部に位置する犬山市には国宝“犬山城”をはじめとする観光拠点が集積しており、平成25年の観光入込客数は約260万人。

小牧・犬山エリアの交通特性

- 南北道路の国道41号名濃バイパス(多車線道路)がエリアの骨格軸となり、国道155号や県道などの2車線道路が東西方向を連絡。
- エリアの代表交通手段の約7割は自動車で自動車依存度が高い。
- 自動車交通の結びつきは、平日は、エリア内において各市町市街地(人口集積地)～国道41号周辺事業所間を結ぶ通勤交通が卓越する一方、エリア～名古屋市方面を結ぶ通勤交通・産業交通も多い。
- 観光期・休日は、地域内外から犬山城等の観光拠点を目的地とする交通が増加。

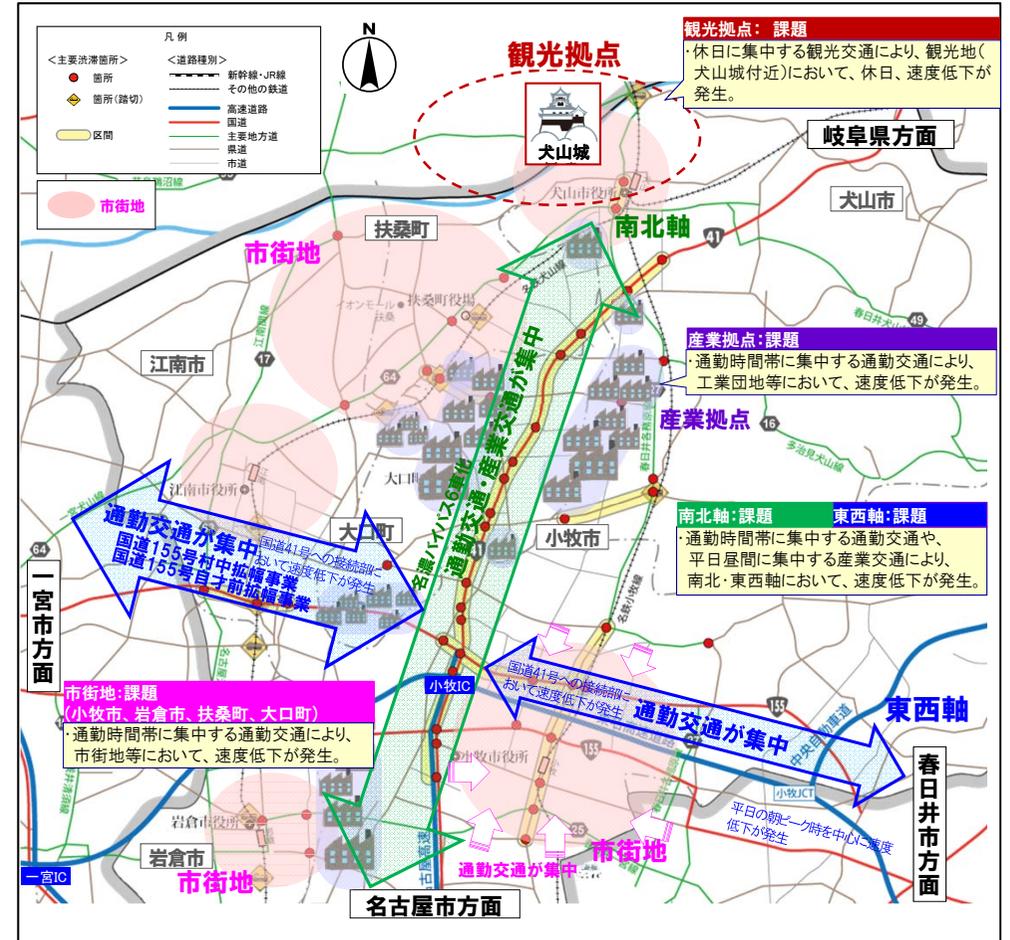
【現状の課題】

- 平日朝夕ピーク時に、南北軸(国道41号名濃バイパス)において、エリア内市街地～周辺事業所および名古屋方面を結ぶ通勤交通の集中により速度低下が発生。東西軸(北尾張中央道)では、国道41号への接続部において速度低下が発生。
- 平日の昼間は、南北軸(国道41号名濃バイパス)において、製造業・運輸業等の産業交通が多く通行しているが、信号交差点が連担しているため信頼性が低い。
- 観光期・休日は、犬山市の観光拠点周辺の道路において、観光交通の集中により速度低下が発生し、生活交通の通行にも支障。

【将来像】

- 拠点相互の連携強化に資する幹線道路の整備促進(小牧市総合交通計画)
- 周辺市町主要拠点間を連絡する幹線道路の整備(犬山市都市計画マスタープラン)
- 自動車の円滑な移動を確保するため、都市計画道路等の道路ネットワークの整備を図る。(江南市都市計画マスタープラン)
- 都市計画道路や産業や住民生活を支える円滑な道路交通体系を形成(扶桑町都市マスタープラン)
- 南北・東西交通軸となる都市計画道路の整備(大口町都市計画マスタープラン)
- 市街地のネットワークを形成する(岩倉市都市計画マスタープラン)

(2) エリアの課題



(3) 対策メニュー

対策実施箇所	対策メニュー
総合対策等	・国道41号沿線及びその周辺で進めている企業と行政が連携したコミュニティバスの取組の拡充(広報、ダイヤ改正の検討など)を図るなど、公共交通への転換を促し、交通渋滞の緩和を図る。
道路整備等	・南北軸(国道41号名濃バイパス)の交通容量を拡大し、通勤交通の速達性ならびに産業交通の信頼性を向上するために6車線化整備等を進める。 ・国道41号名濃バイパスへのアクセスする東西道路の速度サービスを向上するために、国道155号村中拡幅事業、国道155号自才前拡幅事業等を進める。 ・犬山市周辺の観光拠点の集中する観光交通の経路分散を促す取組について検討を進める。

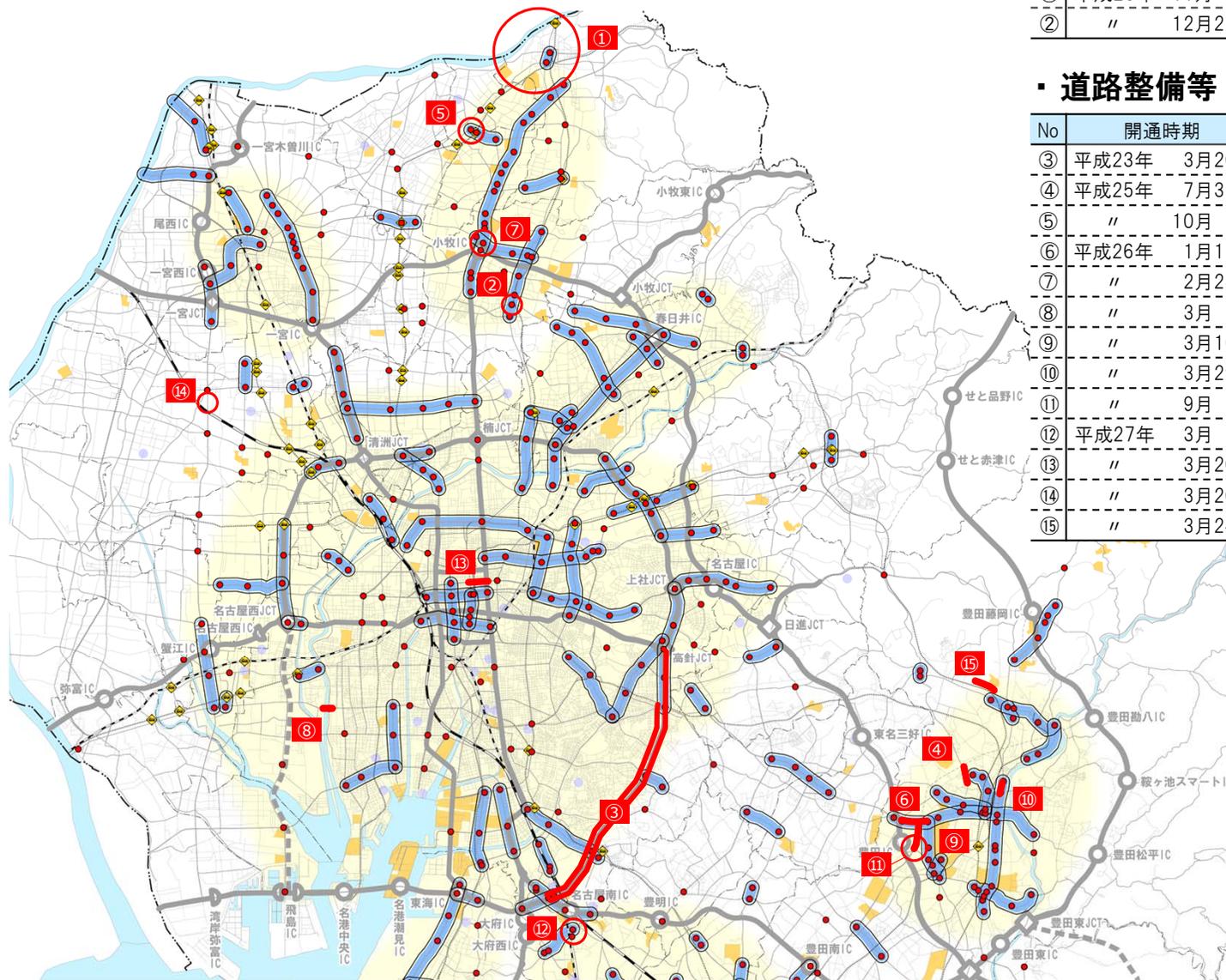
(エリアWG体制) ※「協議会」構成組織を中心とし、必要に応じ関係者の出席を求める。

道路管理者	都道府県警察	基礎自治体	運輸局	道路利用者
国、愛知県 名古屋高速 NEXCO中日本	愛知県警察	小牧市、犬山市、江南市 岩倉市、大口町、扶桑町	中部運輸局	トラック協会、 バス協会など

2. 実施した渋滞対策

2. 実施した渋滞対策

2-1 平成25～26年度に実施した主な対策(1/2)



・ 総合対策等

No	開通時期	対策内容
①	平成26年 11月	犬山城周辺における交通分散を図る情報提供
②	" 12月22日	桜井東交差点 信号現示改良(南北方向に右折矢印を設置)

・ 道路整備等

No	開通時期	対策内容
③	平成23年 3月20日	名二環・国道302号 開通
④	平成25年 7月31日	(都)豊田刈谷線 開通
⑤	" 10月	(一)齊藤羽黒線柏森辻田交差点 交差点改良
⑥	平成26年 1月15日	国道153号豊田西バイパス 開通
⑦	" 2月28日	国道41号村中交差点 車線運用見直し
⑧	" 3月	国道1号一色大橋4車線化
⑨	" 3月16日	国道155号豊田南バイパス一部開通
⑩	" 3月29日	国道153号4車線化(豊田市久保町～同市陣中町)
⑪	" 9月	美山町交差点 車線運用見直し
⑫	平成27年 3月	大府市東新町地内 右折レーンの設置
⑬	" 3月20日	国道19号桜通自転車レーンの整備 (桜通大津～高岳交差点間)
⑭	" 3月20日	(主)春日井稲沢線 現道拡幅
⑮	" 3月24日	市道 伊保貝津線(新規路線) 開通

エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

区間：交差点等が連続するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

凡例

<主要渋滞箇所>

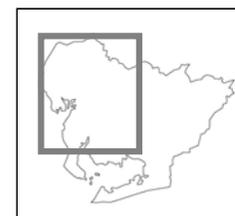
- 箇所
- ◆ 箇所(踏切)
- 区間
- エリア

<道路種別>

- 高速道路
- 一般県道以上
- 市町村道

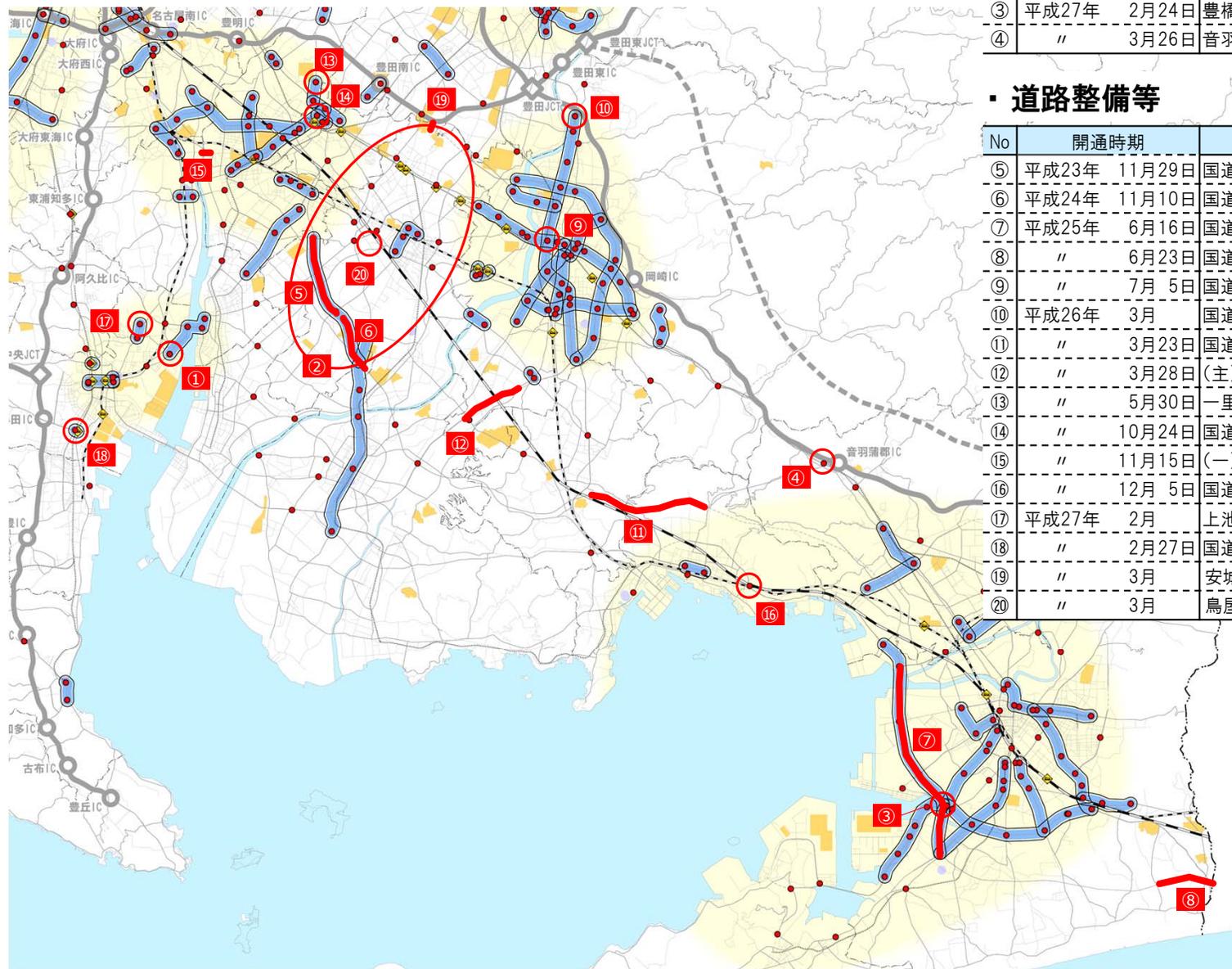
■ 主な工場等

● 主な大規模商業施設



2. 実施した渋滞対策

2-1 平成25～26年度に実施した主な対策(2/2)



・ 総合対策等

No	開通時期	対策内容
①	平成25年 12月10日	国道247号亀崎町6交差点 信号現示変更
②	平成26年 10月 1日	安城市内コミュニティバス(あんくるバス) バスルート・ダイヤ見直し
③	平成27年 2月24日	豊橋港IC交差点 信号現示変更
④	" 3月26日	音羽蒲郡インター交差点の渋滞対策 交通状況の情報提供

・ 道路整備等

No	開通時期	対策内容
⑤	平成23年 11月29日	国道23号名豊道路 知立バイパス 4車線化
⑥	平成24年 11月10日	国道23号名豊道路 知立バイパス 4車線化
⑦	平成25年 6月16日	国道23号名豊道路 豊橋東バイパス 4車線化
⑧	" 6月23日	国道23号名豊道路 豊橋東バイパス 開通
⑨	" 7月 5日	国道1号八帖交差点 右折2車線化
⑩	平成26年 3月	国道248号北於御所交差点 交差点改良
⑪	" 3月23日	国道23号名豊道路 蒲郡バイパス 開通
⑫	" 3月28日	(主)岡崎碧南線バイパス整備
⑬	" 5月30日	一里山町金山交差点 交差点改良(自歩道設置)
⑭	" 10月24日	国道155号西町交差点 上下線右折レーン設置
⑮	" 11月15日	(一)刈谷大府線バイパス開通
⑯	" 12月 5日	国道247号伊与戸交差点 交差点改良
⑰	平成27年 2月	上池交差点 交差点改良
⑱	" 2月27日	国道247号成岩6号 踏切除去事業
⑲	" 3月	安城市里町地内(新規路線)開通
⑳	" 3月	鳥屋金交差点 右折帯の確保

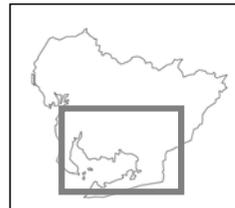
エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

凡例

<主要渋滞箇所>
 ● 箇所
 ◆ 箇所(踏切)
 ■ 区間
 ■ エリア

<道路種別>
 高速道路
 一般県道以上
 市町村道

■ 主な工場等
 ● 主な大規模商業施設



2. 実施した渋滞対策

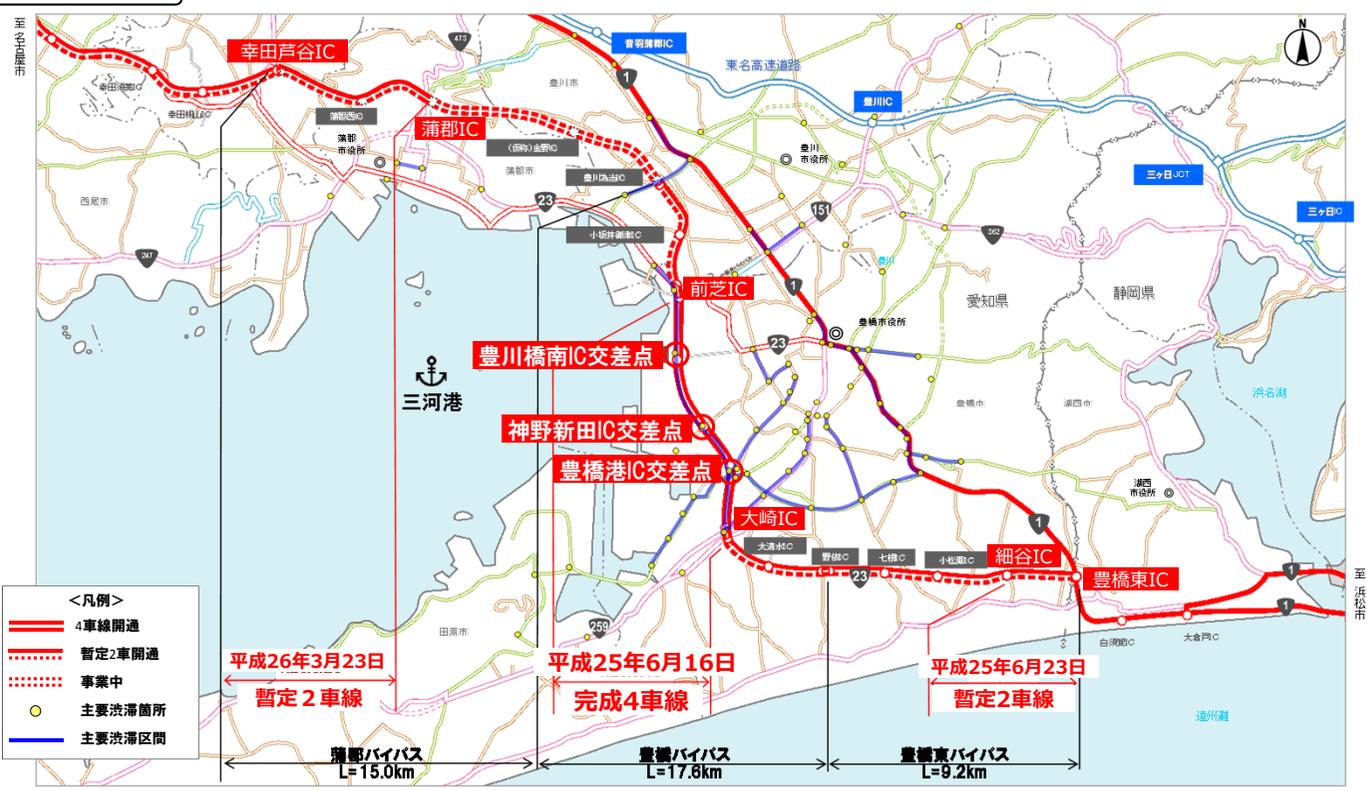
2-2 平成25~26年度に実施した具体的な渋滞対策事例

三河港エリア

(1) 国道23号名豊道路(豊橋バイパス)4車線化(実施主体：国)

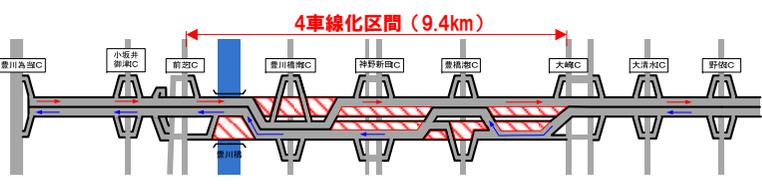
○ 平成25年6月に豊橋バイパスの4車線化事業が一部完了。

位置図

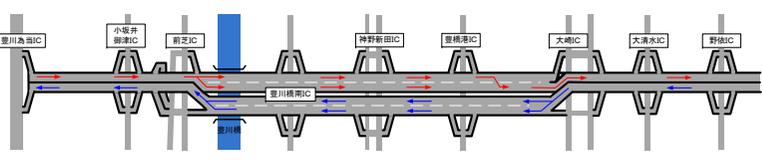


対策概要

【開通前】

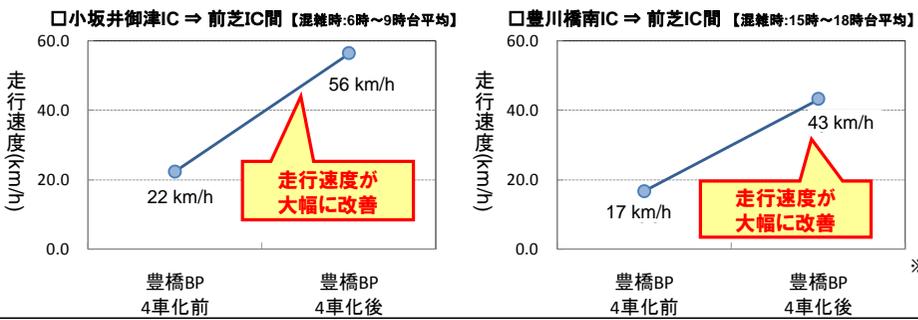


【開通後】



効果

豊橋バイパスの走行速度の変化



4車線化前後の交通状況



※データ:プローブカーによる実走行調査結果
豊橋BP4車線化前:平成25年6月11日
豊橋BP4車線化後:平成25年6月18日

2. 実施した渋滞対策

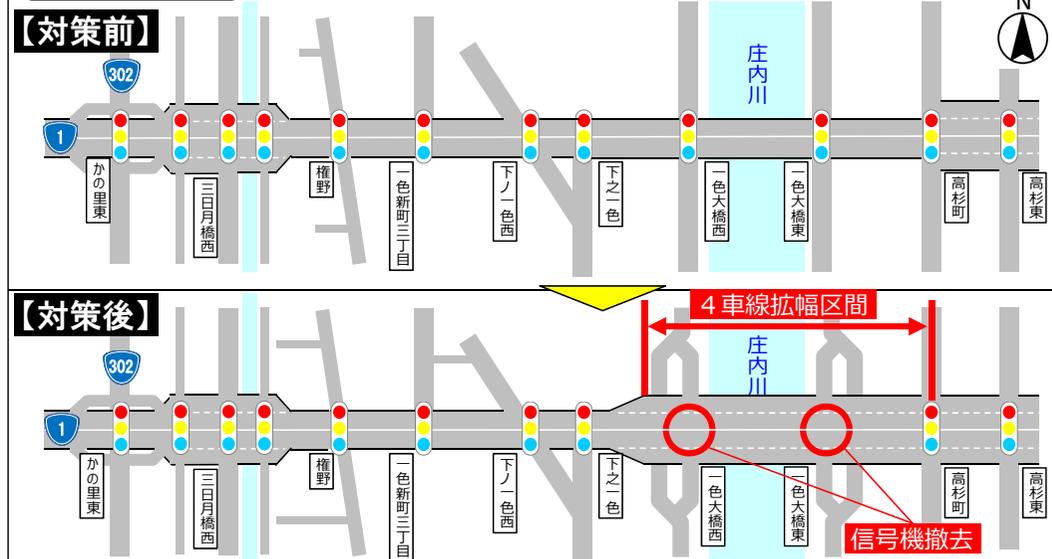
(2) 一色大橋4車線拡幅(実施主体：国)

- 平成26年3月に、国道1号一色大橋4車線化拡幅事業が完成。
- 4車線拡幅区間を含む区間（かの里東交差点～高杉東交差点）の所要時間が短縮
 ⇒上り（名古屋方面）は最大約8分（約7割）、下り方向（四日市方面）は最大約6分（約6割）の所要時間が短縮。

位置図

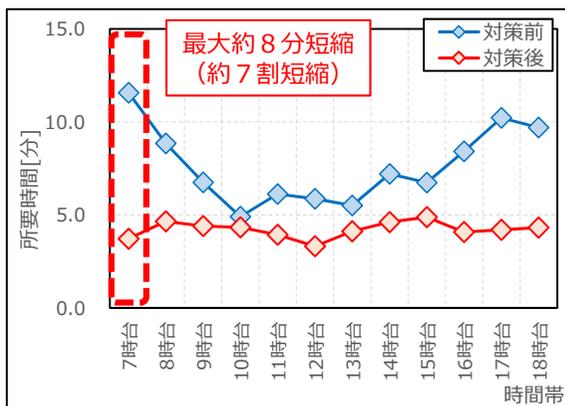


対策概要

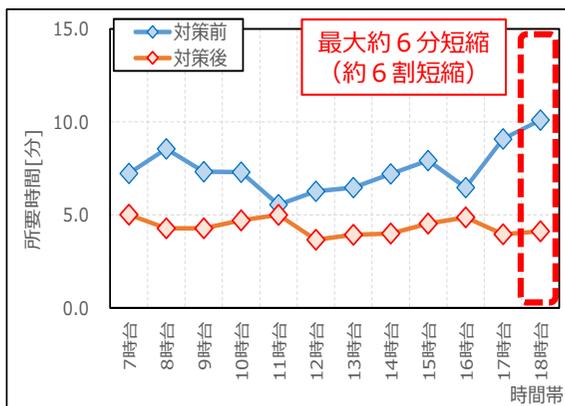


効果

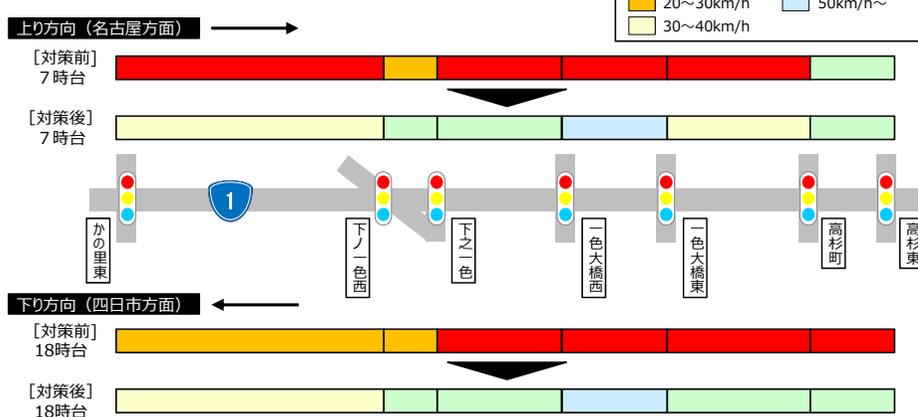
上り方向(かの里東→高杉東):所要時間変動



下り方向(高杉東→かの里東):所要時間変動



かの里東交差点～高杉東交差点:交通状況



※調査日：[対策前]平成25年11月20日(水) [対策後]平成26年5月22日(木)

※調査日：[対策前]平成25年11月20日(水) [対策後]平成26年5月22日(木)

2. 実施した渋滞対策

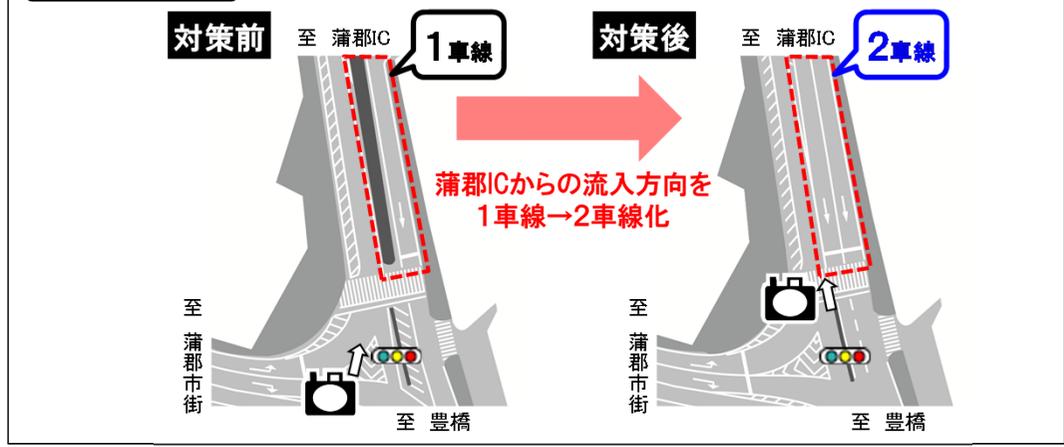
(3) 三谷町伊与戸交差点の車線運用見直し(2車線化)(実施主体：県)

- 名豊道路・蒲郡バイパス開通後、三谷町伊与戸交差点に蒲郡ICからの流入交通が集中し、新たな渋滞が発生。
- そのため、既存用地を活用し、蒲郡ICからの流入方向を平成26年12月5日より2車線化。
- 対策後は渋滞長が0mとなり、渋滞が解消。

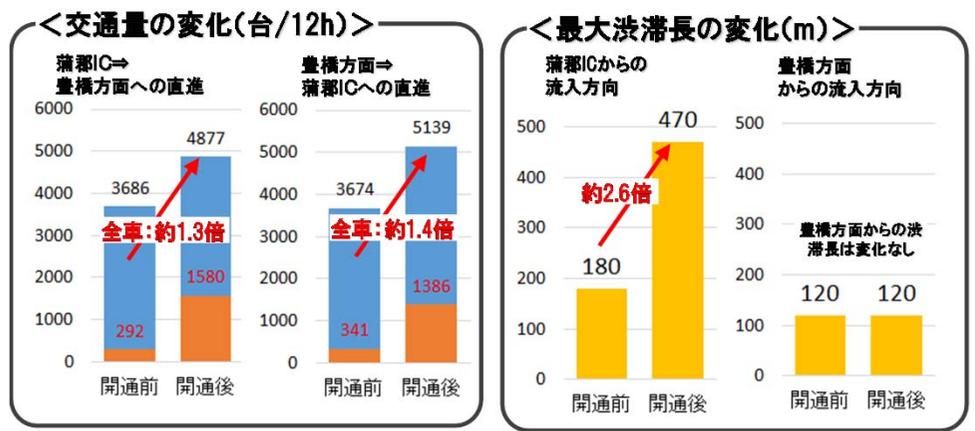
位置図



対策概要



蒲郡バイパス開通後の課題

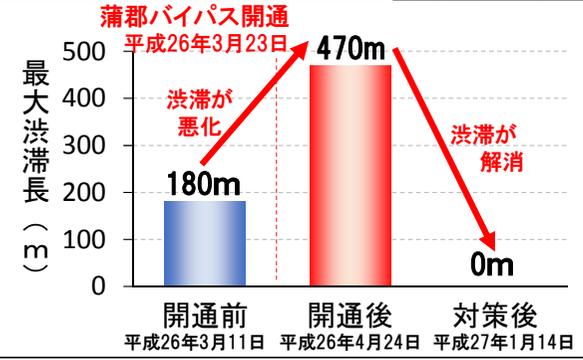


※交通量調査結果 開通前:平成26年3月11日 開通後:平成26年4月24日

効果



最大渋滞長



※交通量調査結果 国土交通省名四国道事務所、愛知県東三河建設事務所にて実施

2. 実施した渋滞対策

半田・衣浦エリア

(4) 名鉄河和線の高架化および国道247号の4車線化(実施主体：県)

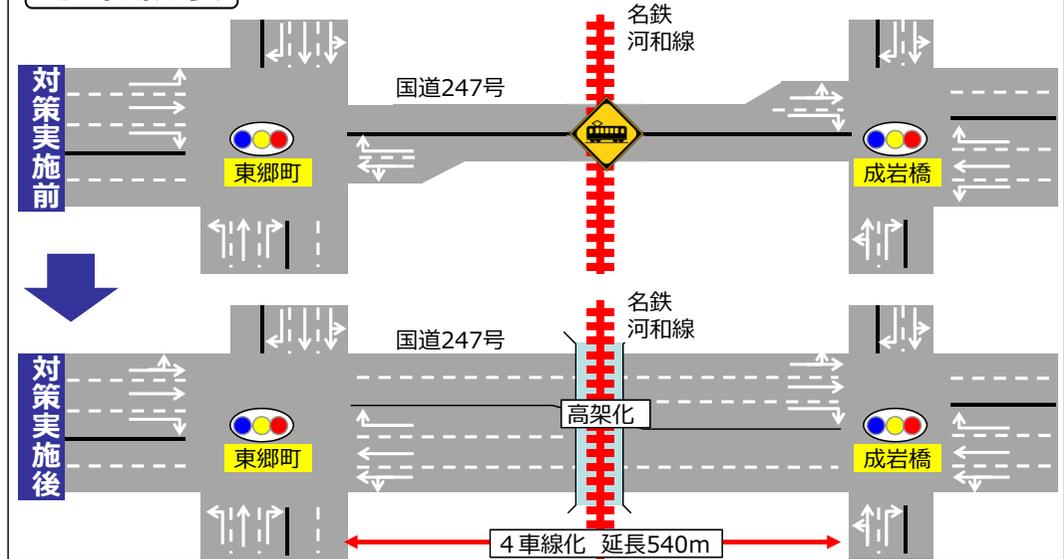
① 事業概要

- 国道247号が名古屋鉄道河和線と交差する成岩（ならわ）6号踏切付近のボトルネック解消に向けて、名鉄河和線 延長1.3kmを高架化し踏切除却するとともに、国道247号を4車線化。平成25年11月16日に鉄道高架化が完了し、平成27年2月27日に国道247号の4車線化が完了。
- 踏切除却・高架化後に成岩6号踏切による交通遮断の解消により渋滞が解消し、4車線化完成後には近隣交差点(東郷町・成岩橋)の渋滞がほぼ解消。

位置図



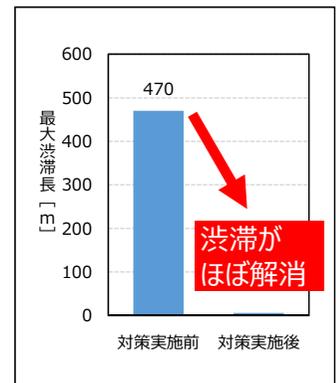
対策概要



効果



【国道247号（東向き）の最大渋滞長の変化】



2. 実施した渋滞対策

知立・刈谷エリア

(5) 知立バイパス4車線化(実施主体：国)

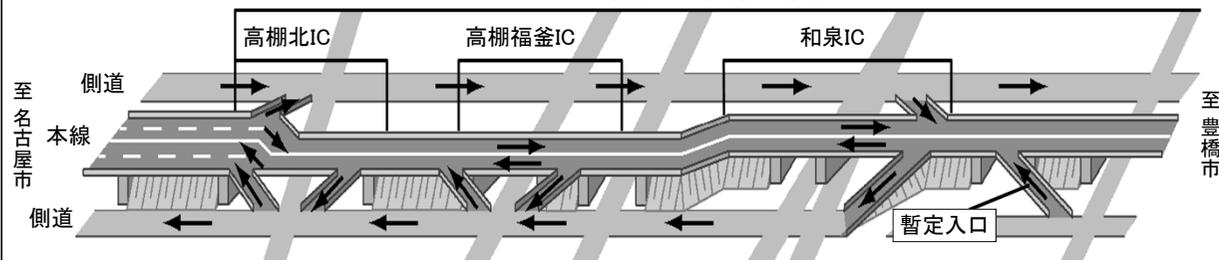
- 平成23年11月に知立BP（高棚北IC～和泉IC）、平成24年11月に知立BP（和泉IC～安城西尾IC）が立体4車線化。
- 4車線化区間（安城西尾IC～高棚北IC）における朝ピーク時間帯（7時台）の旅行速度が向上。

位置図

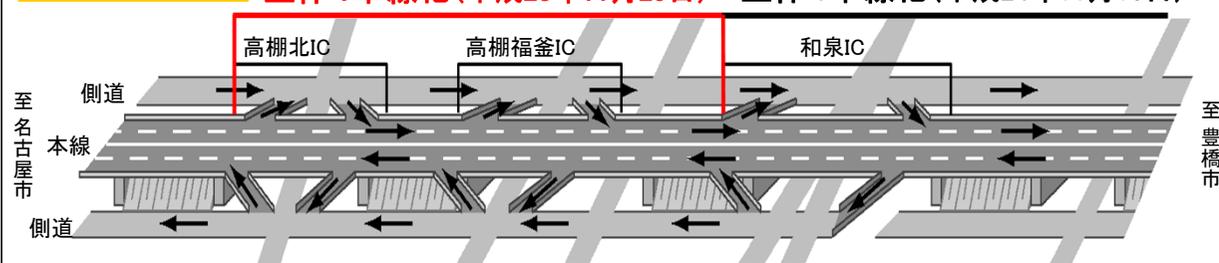


対策概要

開通前(2車線)



開通後(4車線)



効果

IC間の走行速度(開通前:朝7時台)



※平成23年6月22日調査結果（7時台） IC間の平均速度を表示

IC間の走行速度(開通後:朝7時台)



※平成26年度 民間プローブデータ（7時台） IC間の平均速度を表示

2. 実施した渋滞対策

名古屋二環エリア

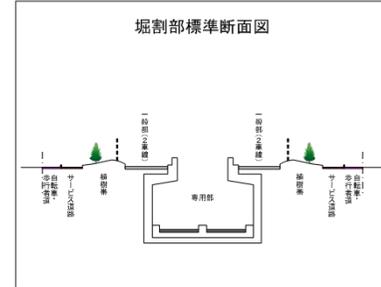
(3)名古屋環状2号線の開通(実施主体：国、NEXCO中日本)

- 平成23年3月20日に、名二環[名古屋南JCT～高針JCT間]と、国道302号[市道平針中央線～都計道水主ヶ池線]が開通。
- 国道302号の開通により、並行する名古屋中環状線（県道59号）等の交通が減少し、高針JCT東交差点の渋滞が緩和。

位置図



対策概要



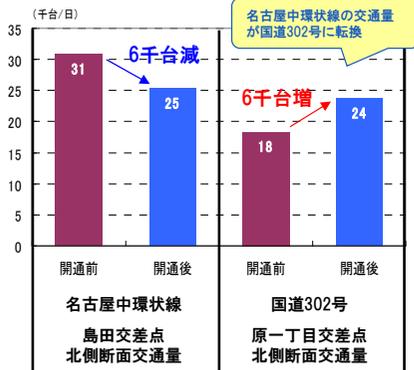
高針JCT交差点【開通前】
上社方面から高針JCT交差点を望む
(平成23年3月8日 8時頃)



高針JCT交差点【開通後】
上社方面から高針JCT交差点を望む
(平成23年3月23日 8時頃)

効果

開通前後の交通量



※交通量調査結果
開通前：平成22年11月30日（平日）
開通後：平成23年 4月20日（平日）

開通前後の渋滞長



※交通量調査結果
開通前：平成22年11月30日（平日）
開通後：平成23年 3月23日（平日）

開通前後の高針JCT東～高針橋東の旅行速度



※民間プローブデータ 開通前：平成22年11月 平日（7時台）
開通後：平成27年7月 平日（7時台）

3. 今年度の主な取組み

3. 今年度の主な取組み

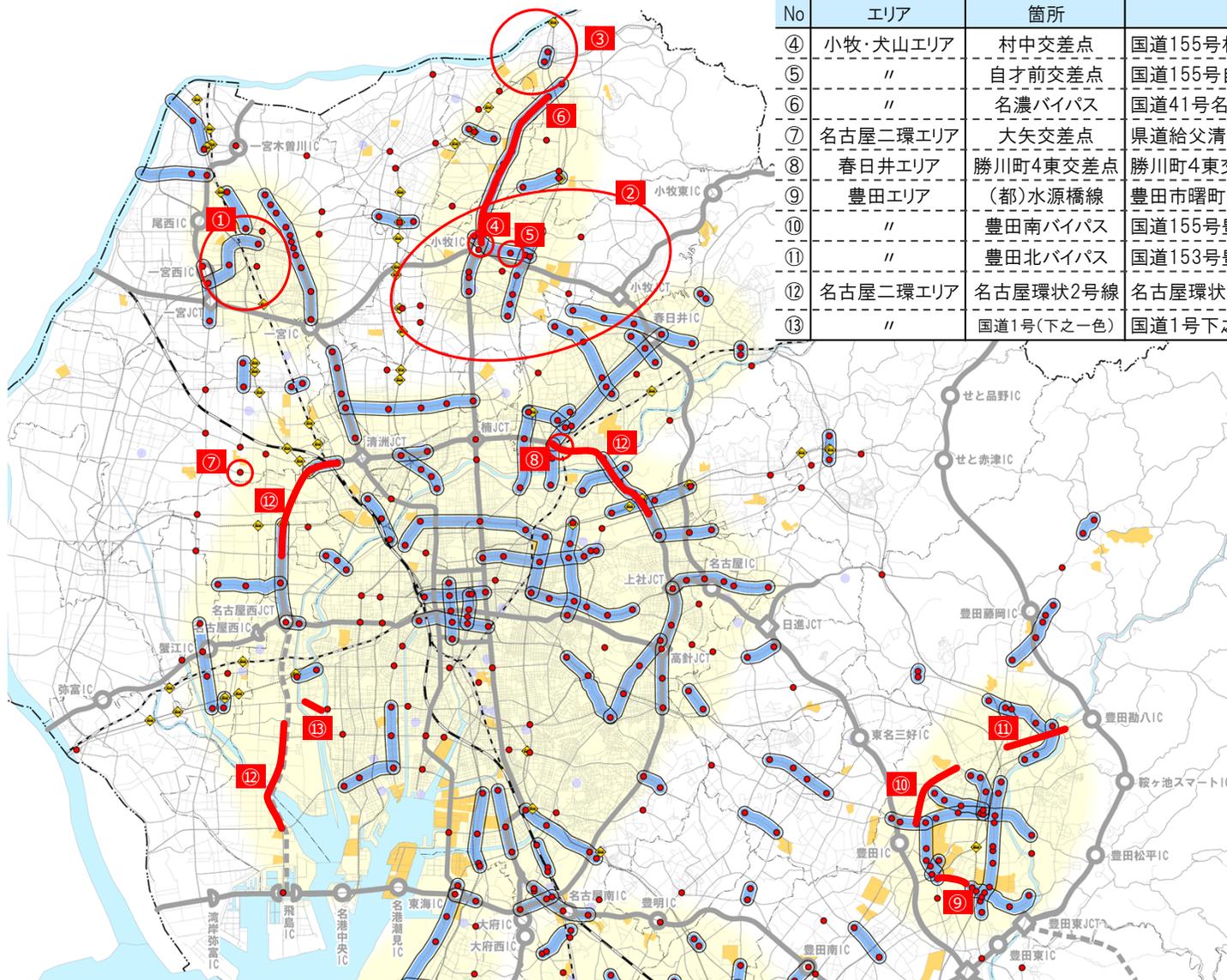
3-1 今年度の主な取組み(1/2)

・ 総合対策等

No	エリア	箇所	対策内容	実施主体	対策状況
①	一宮エリア	一宮市街地	「一宮七夕まつり」の際の無料シャトルバス運行や情報提供による渋滞緩和	一宮市	継続実施
②	小牧・犬山エリア	小牧市街地	「こまき巡回バス」コース・ダイヤ・運行車両などの再編	小牧市	継続実施
③	〃	犬山市街地	観光交通の経路分散を促す取組	犬山市	継続実施

・ 道路整備等

No	エリア	箇所	対策内容	実施主体	対策状況
④	小牧・犬山エリア	村中交差点	国道155号村中交差点拡幅事業	愛知県	実施中
⑤	〃	自才前交差点	国道155号自才前交差点拡幅事業	愛知県	実施中
⑥	〃	名濃バイパス	国道41号名濃バイパス6車線化事業	国土交通省	実施中
⑦	名古屋二環エリア	大矢交差点	県道給父清須線×市道(大矢交差点) 右折帯の整備・現道拡幅	愛知県	H27年度完了
⑧	春日井エリア	勝川町4東交差点	勝川町4東交差点 内回り線の片側2車線化	国土交通省	H27年度完了
⑨	豊田エリア	(都)水源橋線	豊田市曙町～豊田市山之手5 右折レーン設置や歩道拡幅等	愛知県	H27年度完了
⑩	〃	豊田南バイパス	国道155号豊田南バイパス事業	国土交通省	実施中
⑪	〃	豊田北バイパス	国道153号豊田北バイパス事業	国土交通省	実施中
⑫	名古屋二環エリア	名古屋環状2号線	名古屋環状2号線事業(専用部・一般部)	国土交通省 NEXCO	実施中
⑬	〃	国道1号(下之一色)	国道1号下之一色地区4車線化拡幅事業	国土交通省	H27年度完了



エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

区間：交差点等が連続するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

凡例

<主要渋滞箇所>

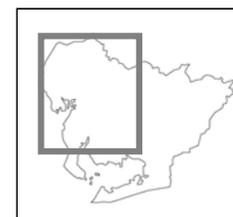
- 箇所
- ◆ 箇所(踏切)

- 区間
- エリア

<道路種別>

- 高速道路
- 一般県道以上
- 市町村道

- 主な工場等
- 主な大規模商業施設



3. 今年度の主な取組み

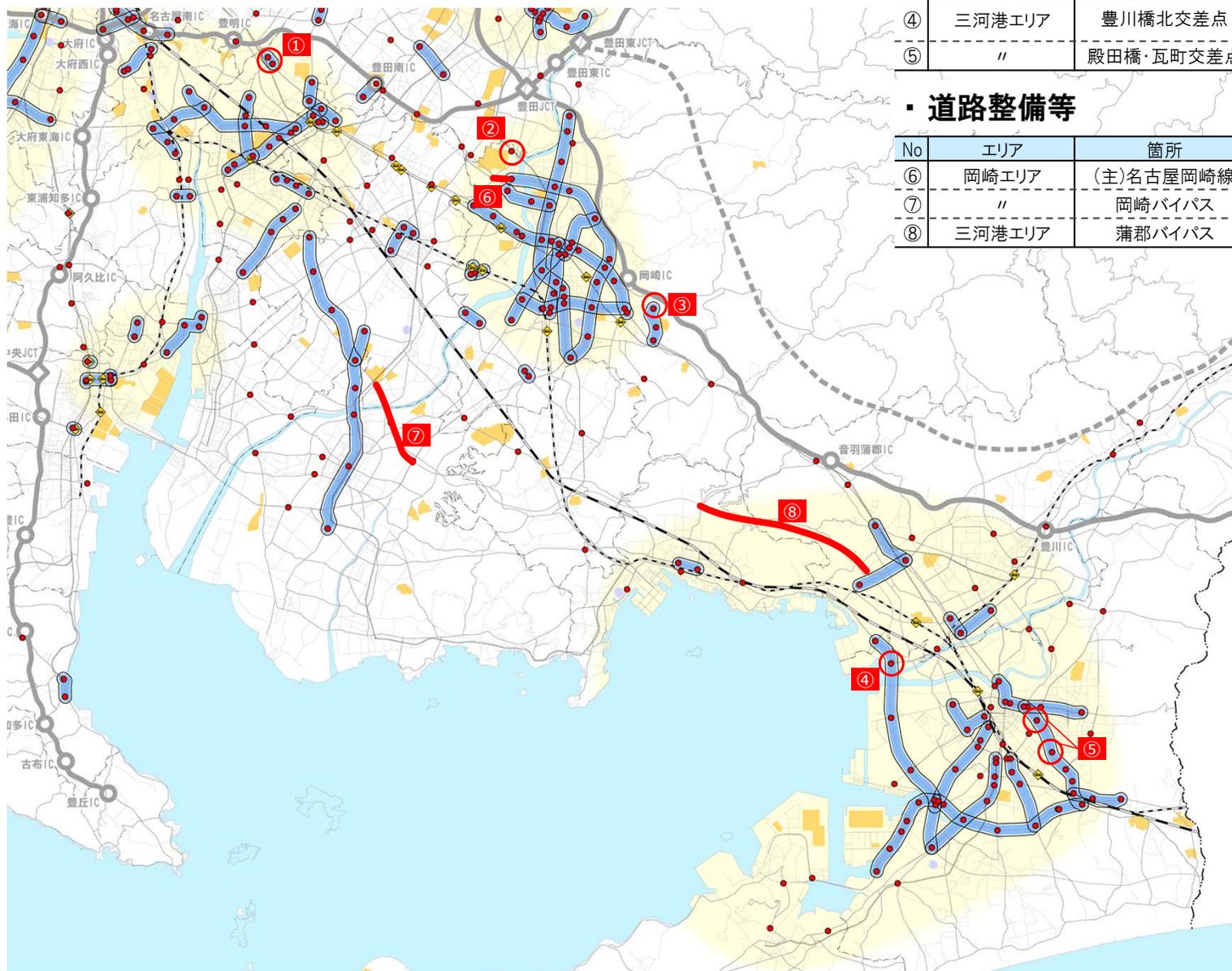
3-1 今年度の主な取組み(2/2)

・ 総合対策等

No	エリア	箇所	対策内容	実施主体	対策状況
①	知立・刈谷エリア	今川町交差点	案内看板の設置による交通分散	国土交通省	今年度実施
②	岡崎エリア	北野町高塚交差点	右折矢印の設置	岡崎市	今年度実施
③	〃	岡町交差点	右折帯及び矢印信号の設置	岡崎市	今年度実施
④	三河港エリア	豊川橋北交差点	車線運用及び信号現示の見直し	国土交通省 警察	今年度実施
⑤	〃	殿田橋・瓦町交差点	信号現示の見直し	警察	今年度実施

・ 道路整備等

No	エリア	箇所	対策内容	実施主体	対策状況
⑥	岡崎エリア	(主)名古屋岡崎線	2車線拡幅	愛知県	H27年度完了
⑦	〃	岡崎バイパス	国道23号名豊道路事業(4車線化)	国土交通省	H27年度完了
⑧	三河港エリア	蒲郡バイパス	国道23号名豊道路事業	国土交通省	実施中



エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

区間：交差点等が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

凡例

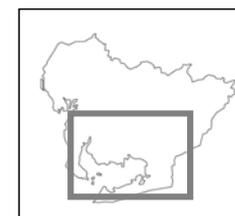
<主要渋滞箇所>

- 箇所
- ◆ 箇所(踏切)
- 区間
- エリア

<道路種別>

- 高速道路
- 一般県道以上
- 市町村道

- 主な工場等
- 主な大規模商業施設



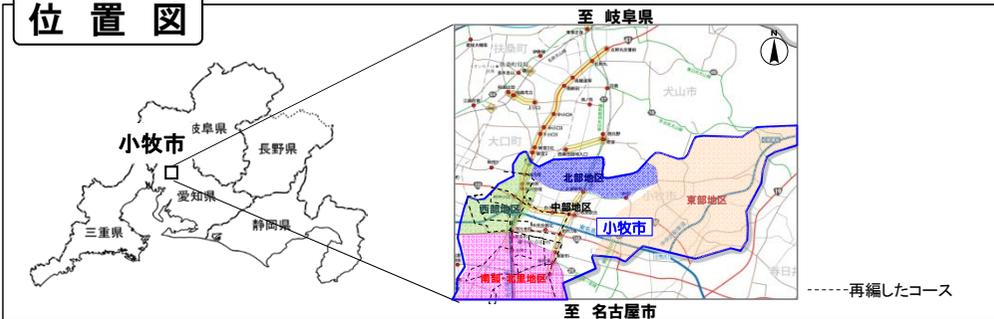
3. 今年度の主な取組み

3-2 今年度実施する渋滞対策(小牧・犬山エリア)

(1) 「こまき巡回バス」コース・ダイヤ・運行車両などの再編【実施主体：小牧市】

- 小牧市内の道路は、小牧市へ集中する通勤者の通勤経路となっており、市街地では慢性的な渋滞が発生。
- 平成27年4月より公共交通の利便性の向上などを図るため、南部、中部、西部及び北里地区において、コース・ダイヤ・運行車両などの再編を実施。

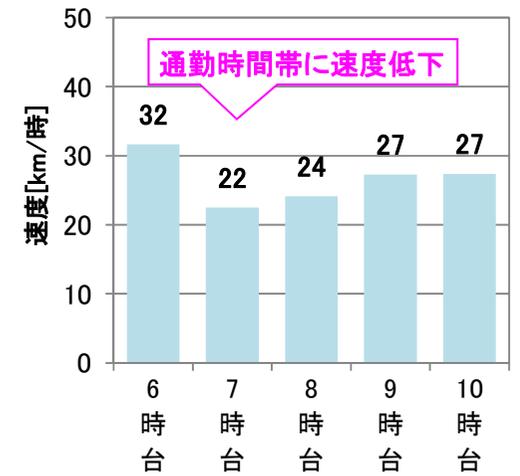
位置図



課題



■小牧市 朝ピークの平均旅行速度



データ：民間プローブデータ(平成27年3月平日)

取組概要

【再編の内容】

- ① 1時間に1本程度の運行間隔の確保
- ② バス停は、半径500mを利用圏域として設置(民間路線バスを含む)
- ③ 3年サイクルで評価・検証し、運行の維持や再編を検討

■再編したコース



取組内容1

- ・南部・中部・西部・北里地区を運行する4つのコースを9つのコースに再編

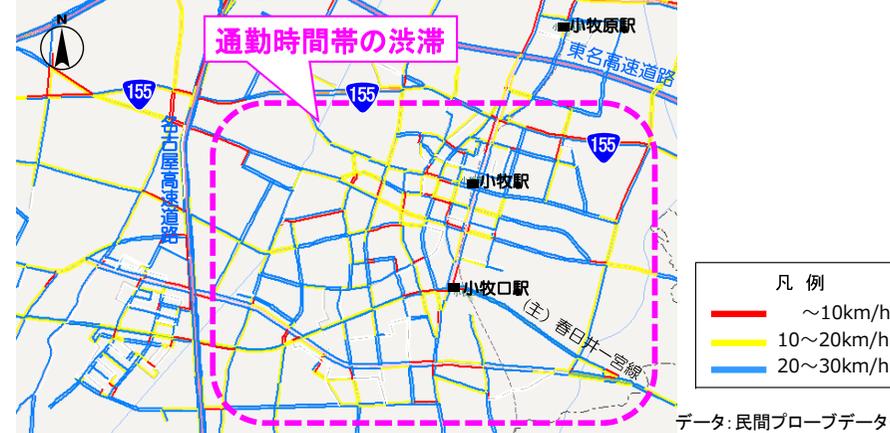
取組内容2

- ・停留所の新設(33箇所)等

■運行車両



■通勤時間帯の旅行速度



データ：民間プローブデータ(平成27年3月7時台 平日)

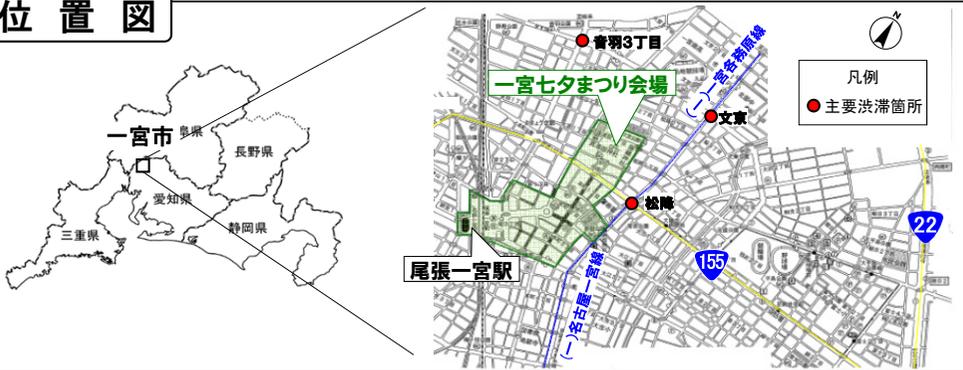
3. 今年度の主な取組み

3-3 今年度実施する渋滞対策(一宮エリア)

(1) 「一宮七夕まつり」際の無料シャトルバス運行や情報提供による渋滞緩和【実施主体：一宮市】

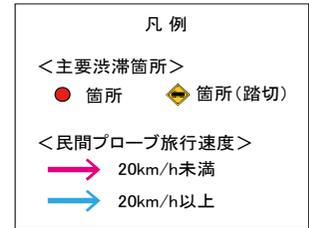
- ① 一宮七夕まつり時は、来訪者数が毎年100万人を超え、市街地周辺に渋滞が発生。
- ② 平成27年度は一宮七夕まつり60周年に加え、ディズニーパレードの開催により、来訪者の増加が見込まれたことから、一宮七夕まつり期間中(平成27年7月23日(木)～26日(日))【平成27年度来訪者数：約130万人】において交通規制の実施・無料シャトルバスの運行・駐車場への誘導及び誘導看板を設置。

位置図



課題

■一宮市街地周辺の旅行速度



データ：民間プローブデータ(平成26年7月27日(日)10時台)

取組概要



■実施状況



3. 今年度の主な取組み

3-4 今年度実施する渋滞対策(春日井エリア)

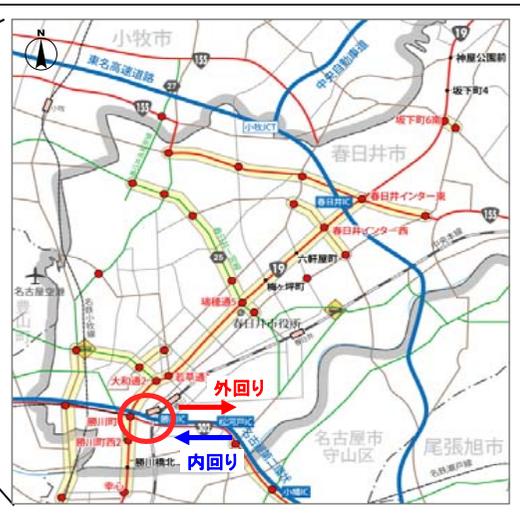
(1) 勝川IC周辺車線運用の改良【実施主体：国】

- 国道302号内回りににおいて、ゼブラや仮設ガードレールにより車線を絞り片側1車線で運用しているため、名二環（専用部）と国道302号の交通が合流することにより渋滞が発生。
- 道路渋滞の緩和を図るため、ゼブラや仮設ガードレールの運用を改善（平成28年2月予定）。

位置図



■整備前



取組概要

■整備後



取組内容1

・ゼブラ等で車線を絞っている箇所を開放し、名二環（専用部）と国道302号の交通を分離。

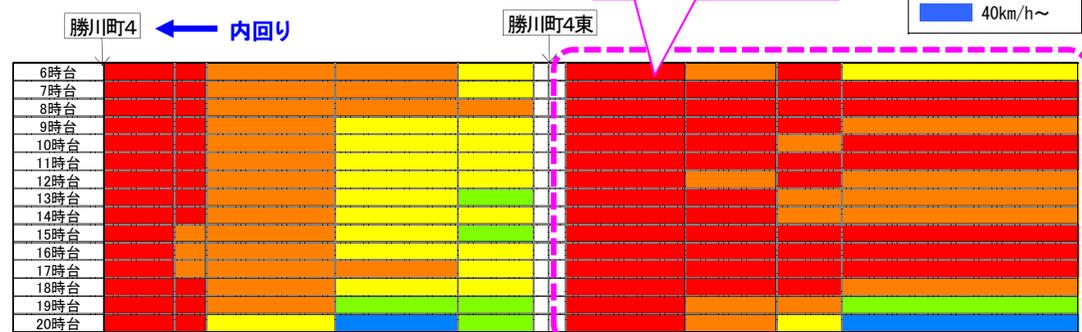
ゼブラ・仮設ガードレール区間の運用を改善

取組内容2

・勝川町4東交差点の左折専用レーンを直左レーンにし、国道19号の勝川町4交差点までを片側2車線で整備。

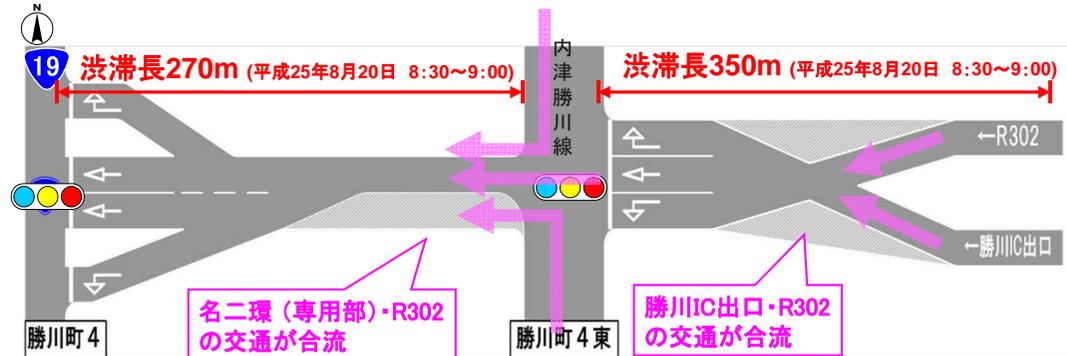
課題

■整備前



データ：民間プローブデータ(平成27年3月平日)

■現状



データ：交通量調査結果(平成25年8月20日)

3. 今年度の主な取組み

3-5 今年度実施する渋滞対策(三河港エリア)

(1) 国道1号殿田橋交差点及び瓦町交差点における信号現示の見直し【実施主体：警察】

- 名豊道路の開通（平成25年6月16日 大崎IC～前芝IC完成4車線化、平成25年6月23日 豊橋東IC～細谷IC暫定2車線開通）により国道1号から名豊道路に交通が転換し、国道1号の交通状況が変化したことを確認。
- 交通量・渋滞長と青時間比のバランスを検証し、短期的対策として、より適切な信号現示への見直しを今年度検討。

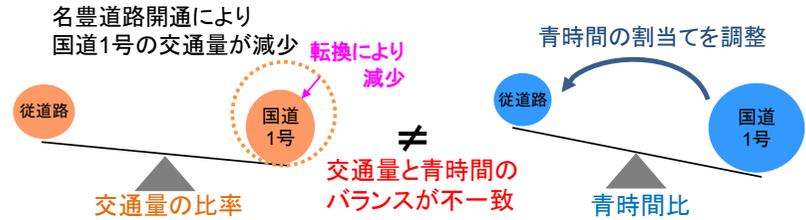
位置図



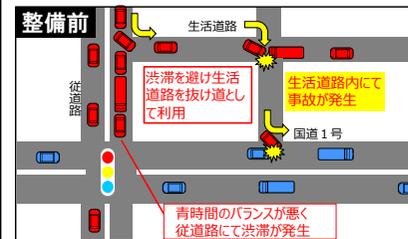
課題

名豊道路の開通により、国道1号の交通が名豊道路に転換し、国道1号の主要交差点で国道1号側の渋滞が改善

ただし、信号現示は開通前から変更なし



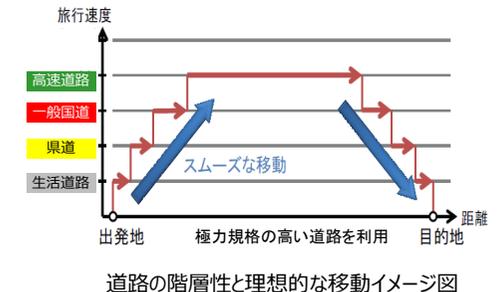
取組概要



最適化のイメージ概念図

幹線道路の機能を損ねない範囲で、名豊道路の供用により国道1号の円滑化できた部分の信号現示の再配分を検討

検討にあたっては、道路サービスの階層構造に留意し実施。生活道路の事故対策にも寄与。



道路の階層性と理想的な移動イメージ図

3. 今年度の主な取組み

3-6 今年度実施する渋滞対策(知立・刈谷エリア)

(1) 今川町交差点における交通分散を促す情報提供【実施主体：国】

- 国道1号上り方向は、朝ピーク時間帯に今川町及び今川町東交差点を先頭に渋滞が発生⇒交通容量超過により渋滞が延伸[約3km]
- ボトルネック区間の対策検討を進めるとともに、需要交通量の交通分散を図る対策として、案内看板設置を今年度検討・実施。

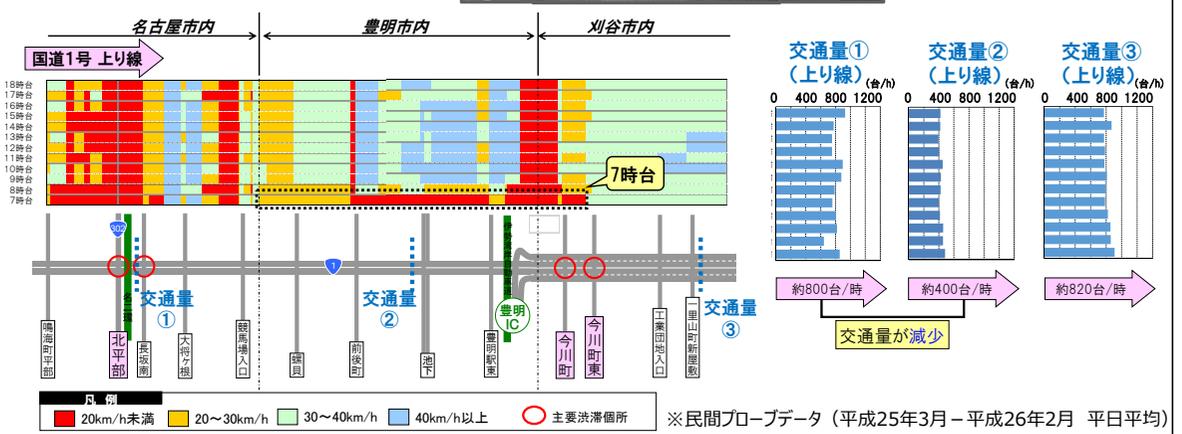
位置図



課題



取組概要



4. 交通状況のモニタリング

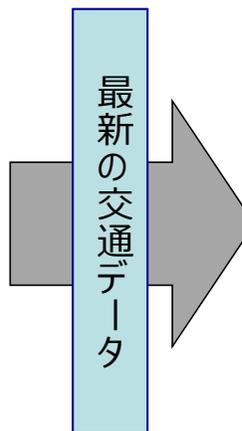
4. 交通状況のモニタリング

4-1 箇所のモニタリング実施結果

- 最新の交通データにより、主要渋滞箇所の抽出指標の該当状況を点検しました
- 点検の結果、渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所が44箇所確認されました
- 今後も経過観察を実施していくとともに、抽出指標に該当しない箇所については現地状況を確認した上で、主要渋滞箇所の見直しも含め、検討していきます

愛知県内の主要渋滞箇所（723箇所）のモニタリング結果

渋滞箇所の分類 (渋滞箇所の抽出指標)	主要渋滞箇所数 (723箇所)	モニタリング結果	
		渋滞箇所の抽出指標に該当する箇所	渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所
①平日における渋滞箇所 (昼間12時間の損失時間 80万人時間/年以上など)	356箇所	322箇所	34箇所
②休日における渋滞箇所 (昼間12時間の損失時間 80万人時間/年以上など)	7箇所	1箇所	6箇所
③踏切による渋滞箇所 (ピーク時の遮断時間40分以上など)	47箇所	46箇所	1箇所
④パブリックコメントによる追加箇所 (パブリックコメント意見箇所を最新データなどにより確認)	313箇所	310箇所	3箇所



※民間プローブデータ、トラカンデータ等による

4. 交通状況のモニタリング

■ 速度変化のモニタリング(渋滞箇所の抽出指標に該当しない箇所)

渋滞箇所の選定指標に該当しない箇所

昨年度渋滞協にてとりまとめ

速度変化のモニタリング
各箇所の旅行速度を方向別・時間帯別で確認

※民間プローブデータによるデータ比較

H24選定時 : H22.9-11、H26モニタリング : H26.9-11

○速度向上がみられる箇所

⇒ 渋滞対策の取組により、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されている。

○速度向上がみられない箇所

⇒ 渋滞が緩和しているわけではないことから、経過観察とする。

モニタリング結果(愛知県)

	主要渋滞箇所の選定指標に該当しない箇所		
	愛知県全体	速度向上がみられる箇所	速度向上がみられない箇所
①平日における渋滞箇所	34	4	30
②休日における渋滞箇所	6	2	4
③踏切による渋滞箇所	1	1	0
④パブリックコメントによる追加箇所	3	0	3
合計	44	7	37

4. 交通状況のモニタリング

(1) 神野新田IC交差点

- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、方向①において旅行速度が向上している。
- 国道23号豊橋バイパス4車線化事業が平成25年6月に開通したことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されているが、方向③の夕方ピーク時に、旅行速度が20 km/hを下回っていることから、経過観察とする。

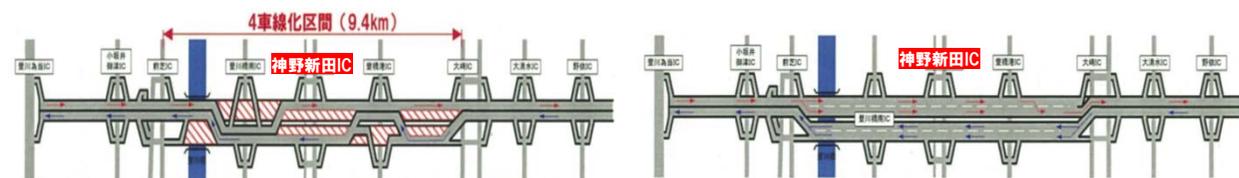
■神野新田IC交差点



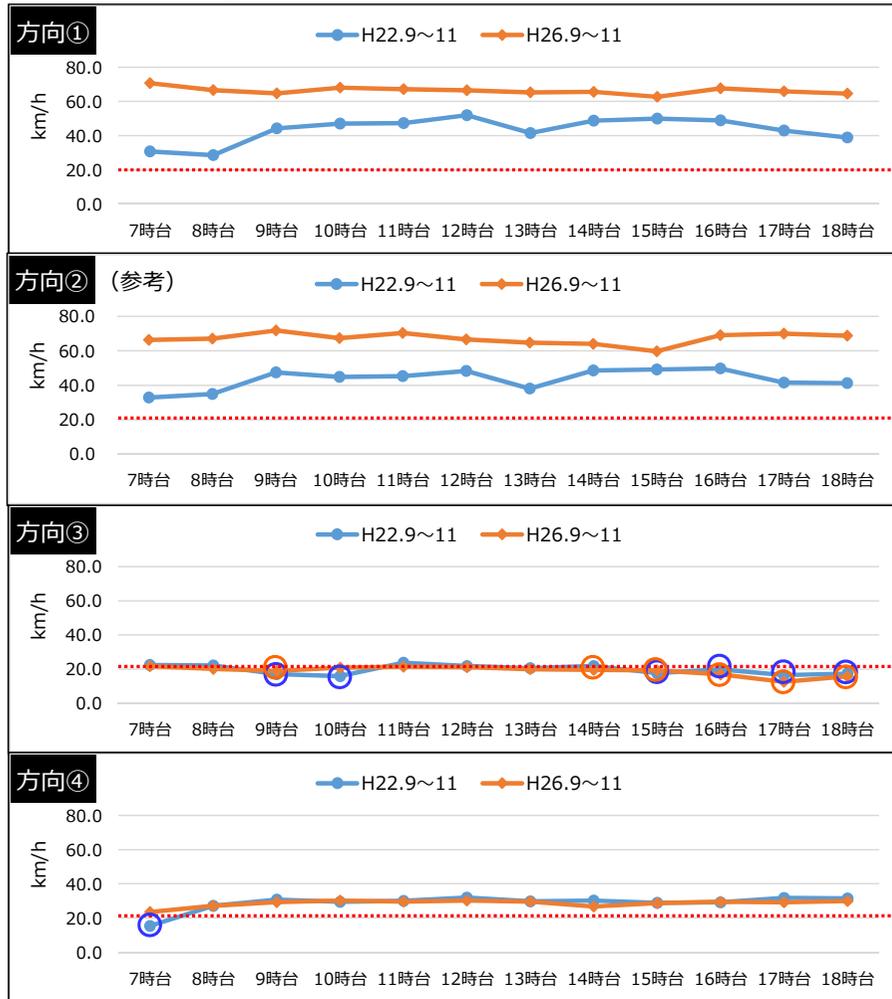
■対策内容

[対策前]

[対策後]



■方向別旅行速度



凡例

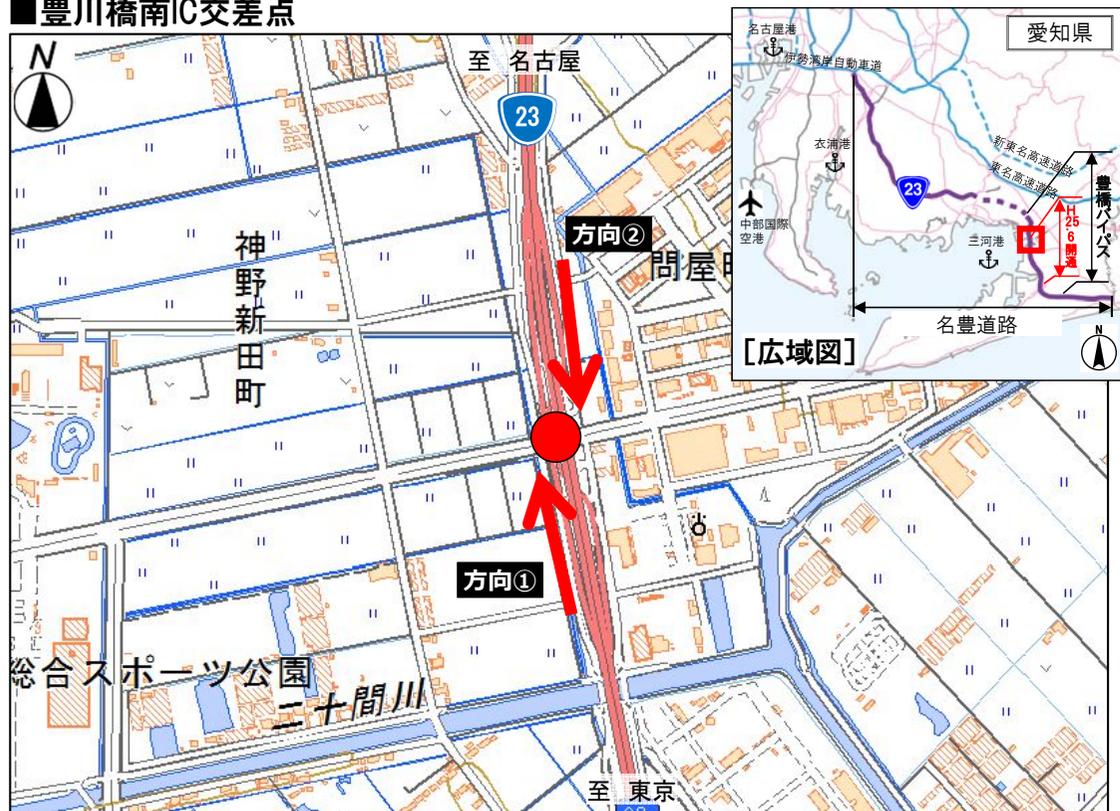
- : H22.9~11において20km/hを下回る時間
- : H26.9~11において20km/hを下回る時間

4. 交通状況のモニタリング

(2) 豊川橋南IC交差点

- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、方向①及び方向②において旅行速度が向上している。
- 国道23号豊橋バイパス4車線化事業が平成25年6月に開通したとことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されていることから、当該箇所については、主要渋滞箇所から削除する。

■ 豊川橋南IC交差点

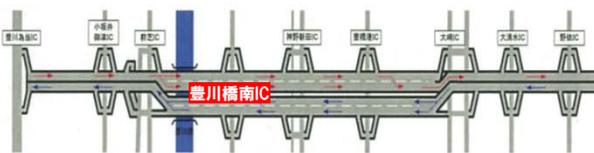


■ 対策内容

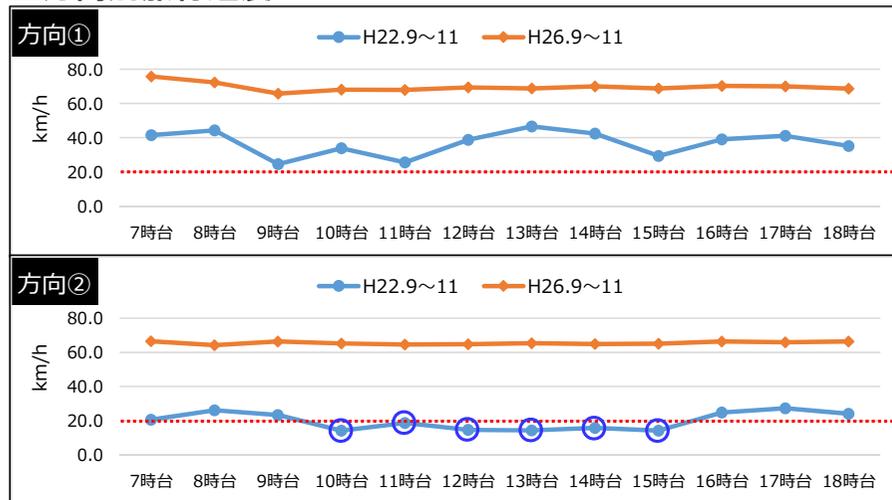
[対策前]



[対策後]



■ 方向別旅行速度



凡例

- : H22.9~11において20km/hを下回る時間
- : H26.9~11において20km/hを下回る時間

4. 交通状況のモニタリング

(3) 豊橋港IC交差点

- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、方向①及び方向②において旅行速度が向上している。
- 国道23号豊橋バイパス4車線化事業が平成25年6月に開通したことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されているが、方向③の各時間帯において、旅行速度が20 km/hを下回っていることから、経過観察とする。

■豊橋港IC交差点



■対策内容

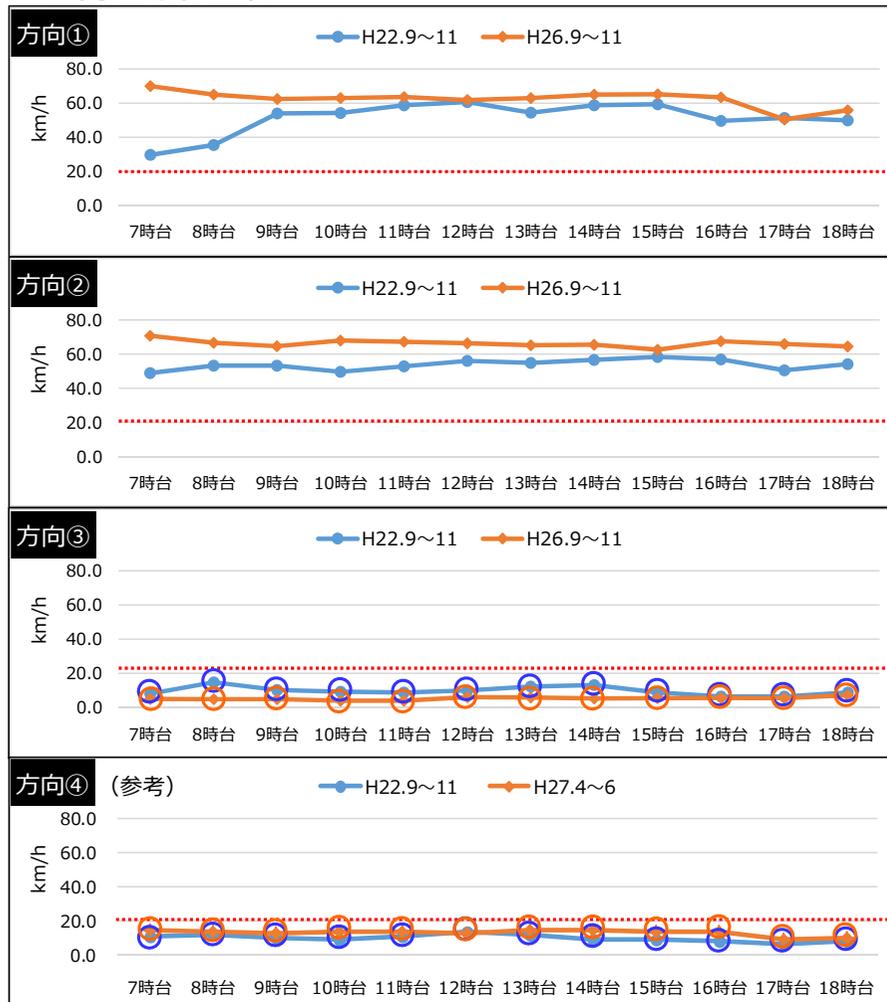
[対策前]



[対策後]



■方向別旅行速度



凡例

- : H22.9～11において20km/hを下回る時間
- : H26.9～11において20km/hを下回る時間

4. 交通状況のモニタリング

(4) 高棚北IC交差点

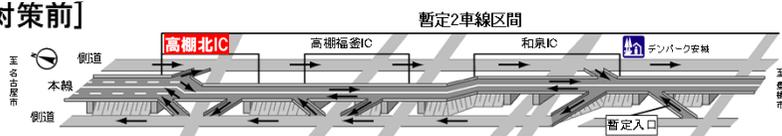
- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、方向①及び方向②において旅行速度が向上している。
- 国道23号知立バイパス4車線化事業が平成23年12月に開通したことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されているが、方向③④の朝夕ピーク時において、旅行速度が20 km/hを下回っていることから、経過観察とする。

■ 高棚北IC交差点



■ 対策内容

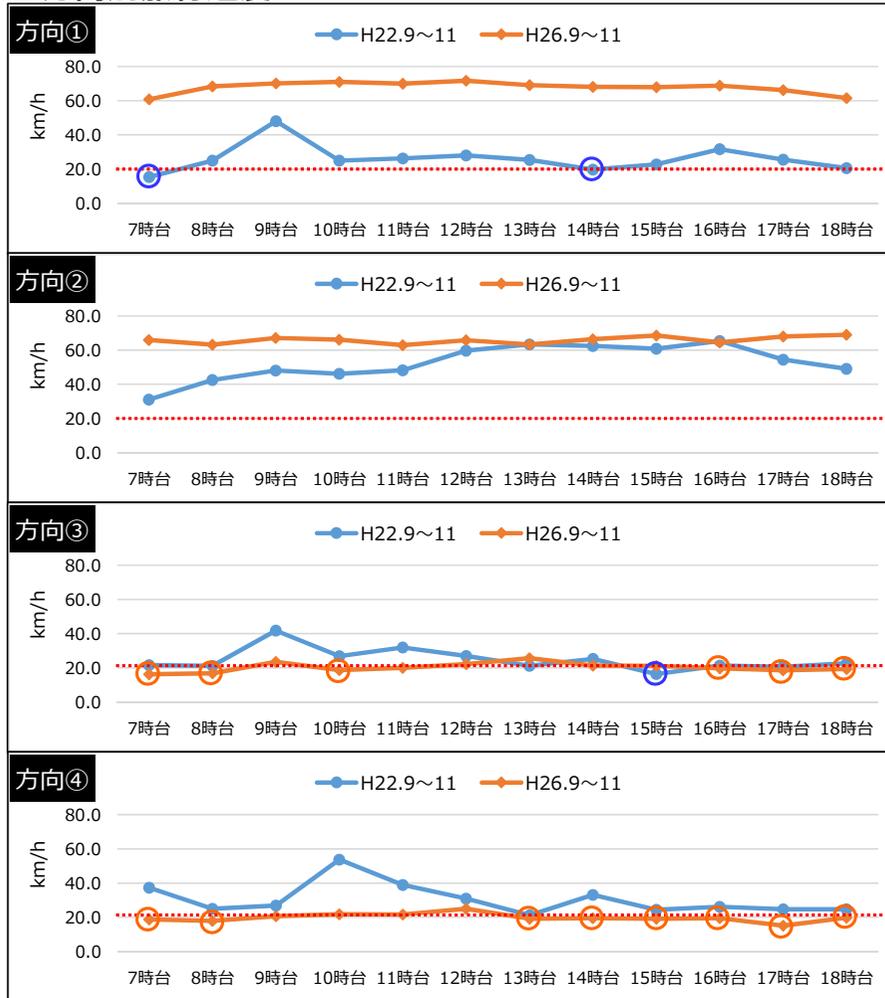
[対策前]



[対策後]



■ 方向別旅行速度



凡例

- : H22.9~11において20km/hを下回る時間
- : H26.9~11において20km/hを下回る時間

4. 交通状況のモニタリング

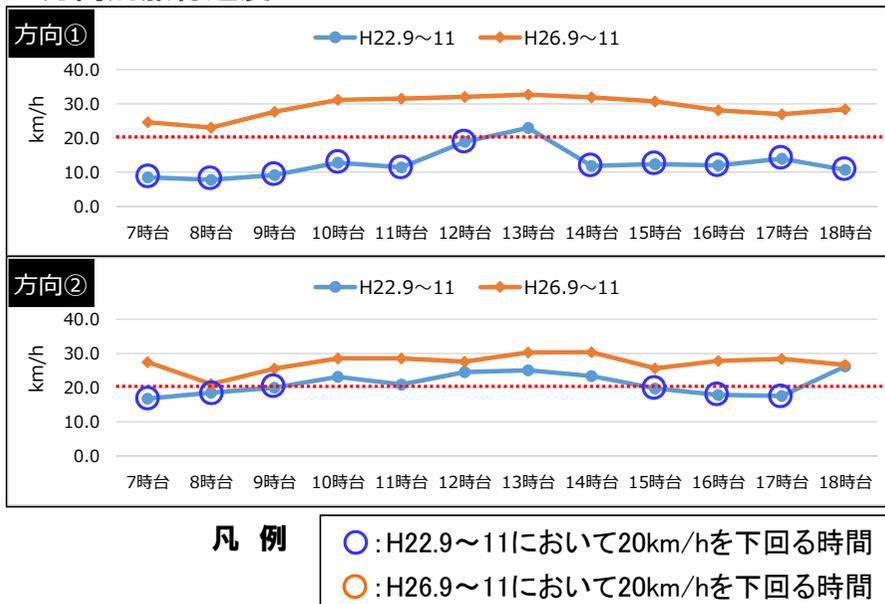
(5) 高針JCT交差点

- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、方向①及び方向②において旅行速度が向上している。
- 名二環[名古屋南JCT～高針JCT間]と、国道302号[市道平針中央線～都計道水主ヶ池線]が平成23年3月に開通したことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されていることから、当該箇所については、主要渋滞箇所から削除する。

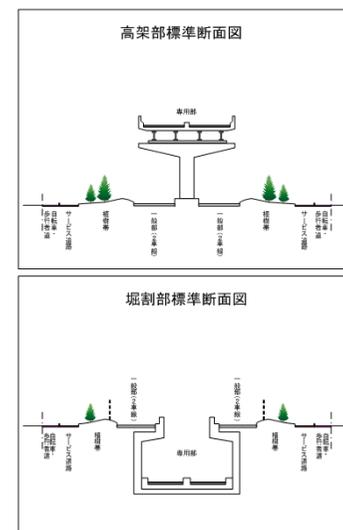
■高針JCT交差点



■方向別旅行速度



■対策内容

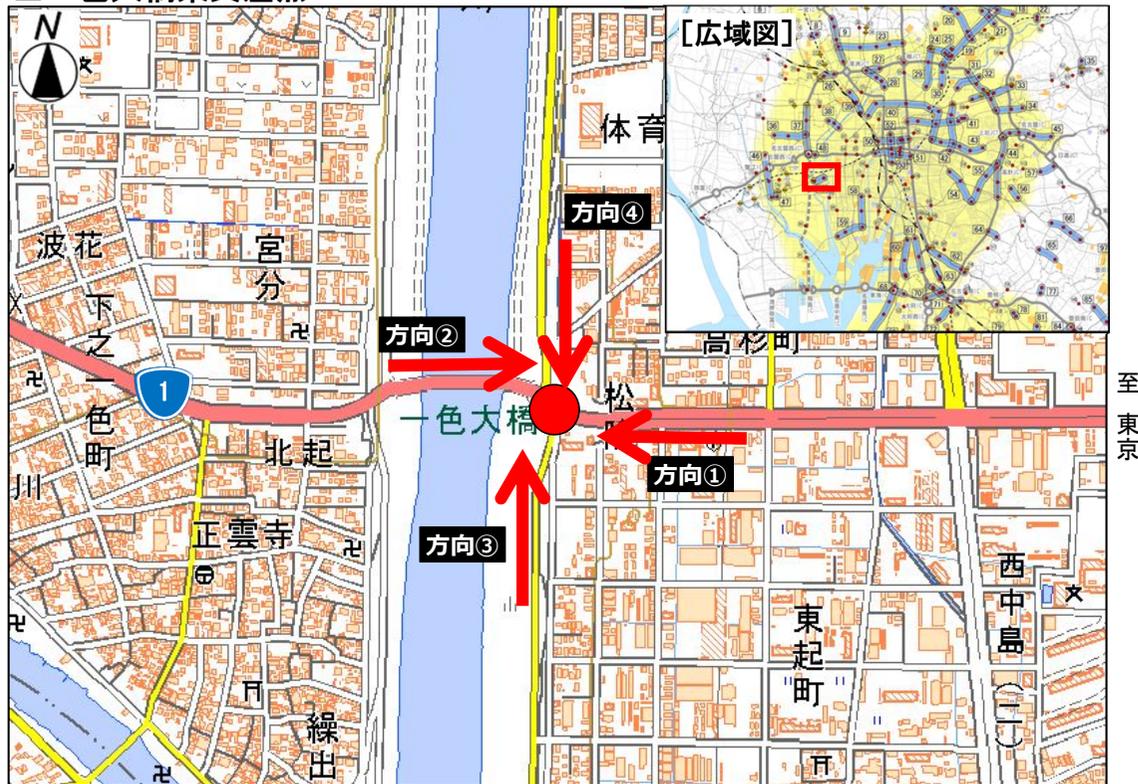


4. 交通状況のモニタリング

(6) 一色大橋東交差点

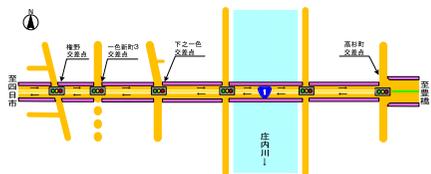
- 旅行速度の傾向は、平成24年度時と比較すると、全方向において旅行速度が向上している。
- 国道1号4車線拡幅事業が平成26年3月に完成したことにより、主要渋滞箇所の渋滞が緩和されていることから、当該箇所については、主要渋滞箇所から削除する。

■一色大橋東交差点



■対策内容

[対策前]



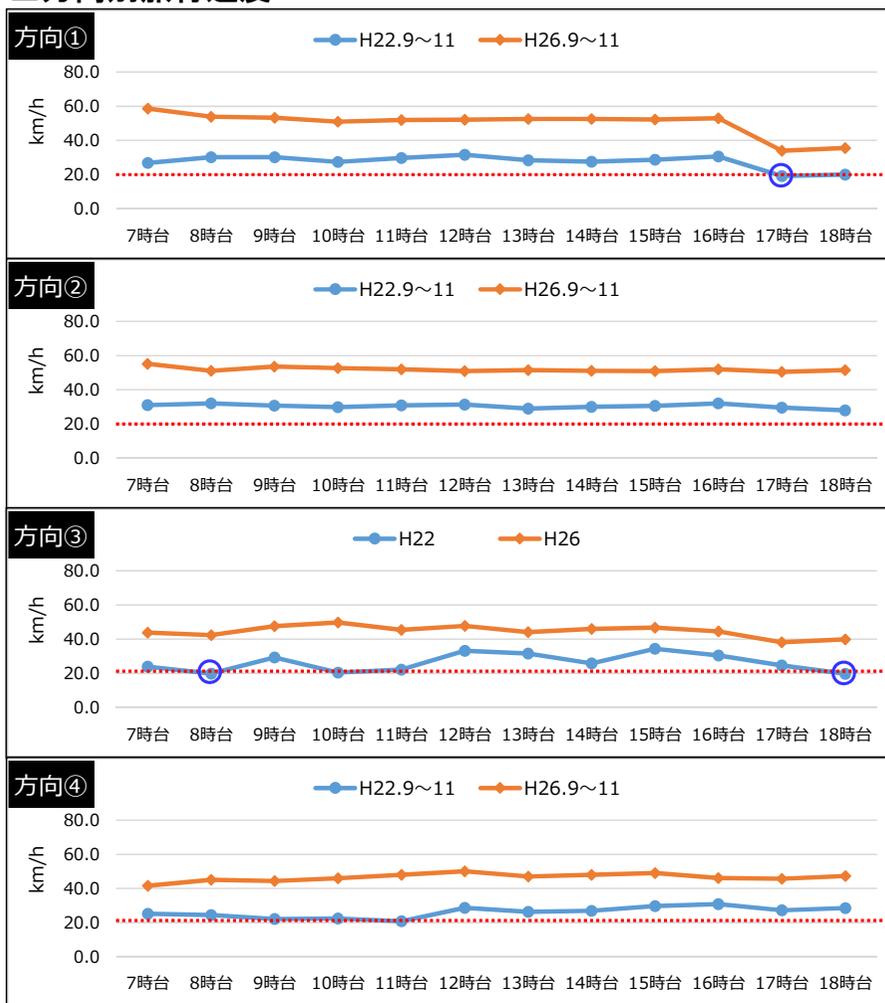
[対策後]



[4車線拡幅後]



■方向別旅行速度



凡例

- : H22.9~11において20km/hを下回る時間
- : H26.9~11において20km/hを下回る時間

4. 交通状況のモニタリング

(7) 踏切(名鉄・河和線):【踏切による渋滞箇所】

○国道247号踏切除却事業（鉄道高架化）の平成25年11月完了に伴い、主要渋滞箇所（踏切）が解消されたことから、当該箇所については、主要渋滞箇所（踏切）から削除する。

■踏切(名鉄・河和線)



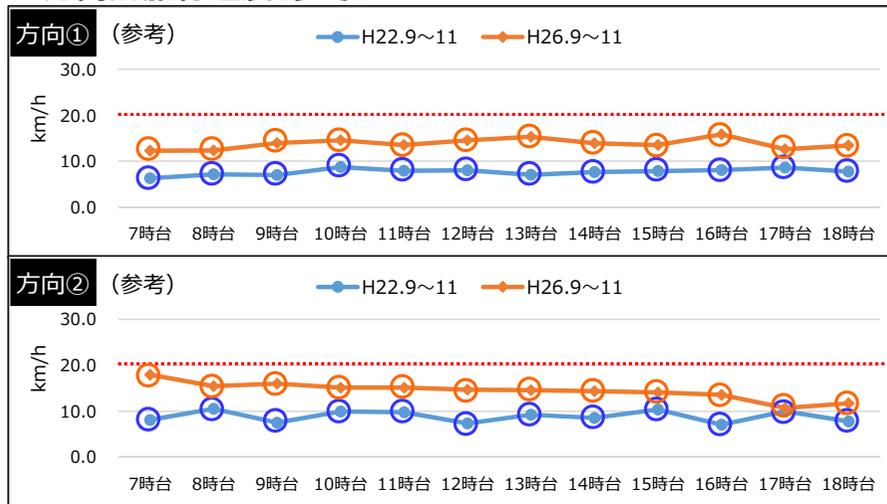
■対策内容 [対策前]



[対策後]



■方向別旅行速度(参考)



凡例

- : H26.9~11において20km/hを下回る時間
- : H22.9~11において20km/hを下回る時間